

第五十九回 帝國議會貴族院 米穀法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號

昭和六年三月十八日(水曜日)午前十時十九分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ是カラ開會イタシマス、引續キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○子爵土岐章君 昨日、一昨日ニ瓦リマシテ米ノ化學的成分カラ考ヘテ用途ノ方面ニ迄米穀法ノ運用ニ付テ政府ハ力ヲ用キラレル必要ガアルト云フコトヲ申上ゲマシタ如ク昨日モ朝鮮ニ於ケル「アメリカン・コン・プロダクト・コムパニー」ガ工場ヲ作ッテ、ソコデ澱粉ヲ製造スル爲ニ、高粱ヲ只今無税デアルノヲ利用スルト云フコトヲ申上グマシタガ、本日ノ東京日日新聞ニ依ルト大連ノ滿鐵試驗所ニ於テ六所文三ト云フ技術ガ、高粱ノ澱粉カラ無煙火薬ノ原料ヲ發明シタト云フコトガ出テ居リマス、此無煙火薬ノ原料ト云フモノハ一朝有事ノ際ニノデ、昨日モ拓務省當局トシテモ十分ニ將來工業的方面ニ對シテモ注意ヲサレルト云ニ十分注意ヲサレルト云フコトデアリマシタガ、此問題ニ對シテ當局トシテ御承知デ

アリマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 高粱ノ工業的利用ニ關シマシテ、滿鐵ガ中央試驗所ヲ置キマシテ以來色々研究ヲ致シテ居ルト云フコトモ聞キマシテゴザイマスシ、又民間ニ於テモ高粱ヲ食料ニモット能ク利用出來ルヤ

テモ高粱ヲ食料ニモット能ク利用出來ルヤウナ方法ヲ研究シテ居ル人ガアルコトモ承知ヲシテ居リマスガ、併シ只今御話ノ無煙火薬ノ原料ノ方ニ利用スルト云フヤウナコトハマダ私ハ聞イテ居ラナイ、今朝ノ新聞デ矢張リ私モ承知ヲ致シマシタヤウナ次第デゴザイマス、朝鮮ノ「コーン・プロダクト・コムパニー」ノ澱粉原料ガ玉蜀黍ノ外ニ尙ホ高粱ヲ原料ニスル見込デアルト云フコトハ、昨日殖田委員カラ申上ゲマシタヤウニ、是ハ最近ニ私モ聞イテ居リマスルコトニアリマス、大藏大臣ノ都合ガ惡ケレバ後刻デモ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 承知イタシマシタ、大藏大臣ノ都合ガ付キマシタラ……

○男爵三須精一君 若シ今御都合ガ惡ケレバ後刻デモ宜シウゴザイマス

○橋本圭三郎君 大藏大臣ノ來ラレル迄ノ間ニ、皆サン御覽ニナツタコト思ヒマスガ、皆御互ニ心配シテ居タ疏安ノ問題ガ今朝ノ新聞ニ、ドノ新聞ニモアア云フヤウナコトガ書イテアルノデスカラシテ、多分事實グラウト思ヒマスガ、何カ話合ガ付イタト云フヤウナコトガ書イテアルヤウデアリマスガ、若シモウ御公言ナサッテ宜イ時期デアルナラバ伺テ置キタイト思ヒマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○子爵土岐章君 クドイヤウデゴザイマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、此問題ニ對シテ當局トシテ御承知デアリマスガ、若シモウ御公言ナサッテ宜イ時期デアルナラバ伺テ置キタイト思ヒマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(町田忠治君) 私モ今朝ノ新聞デ初メテ見タノデアリマスガ、アレガドノ邊マデ進行シテ居リマスルカ、マダ十分取調ガ付キマセヌ、實際ニ於テ事柄ガ農家ノ

御願ヲシテ置キタイコトガアリマス、昨日農林大臣ヨリ米穀特別會計ノ改正ノコトニ付キマシテ大體ノ御話ヲ承ハリマシタガ、更ニ大藏大臣ニ此コトニ付テ伺ヒタイト思ヒマスガ、大藏大臣ノ御出席ヲ御願ヒ出來マイカ

付キマシテ、アノ取調ヲ今朝來シカカッテニハ參リマセヌ、商工省ニモ問合セマシテ又外ノ方面デモ取調中デアリマスカラ、此次ノ機會ニ於テ御報告出來ヤウト思ヒマス、暫時御猶豫ヲ願ヒマス

○子爵片桐貞央君 私ハ前ニ政府ノ持米シタ、大藏大臣ノ都合ガ付キマシタラ……

○男爵三須精一君 若シ今御都合ガ惡ケレバ後刻デモ宜シウゴザイマス

○橋本圭三郎君 大藏大臣ノ來ラレル迄ノ間ニ、皆サン御覽ニナツタコト思ヒマスガ、皆御互ニ心配シテ居タ疏安ノ問題ガ今朝ノ新聞ニ、ドノ新聞ニモアア云フヤウナコトガ書イテアルノデスカラシテ、多分事實グラウト思ヒマスガ、何カ話合ガ付イタト云フヤウナコトガ書イテアルヤウデアリマスガ、若シモウ御公言ナサッテ宜イ時期デアルナラバ伺テ置キタイト思ヒマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○子爵土岐章君 クドイヤウデゴザイマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、此問題ニ對シテ當局トシテ御承知デアリマスガ、若シモウ御公言ナサッテ宜イ時期デアルナラバ伺テ置キタイト思ヒマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(町田忠治君) 私モ今朝ノ新聞デ初メテ見タノデアリマスガ、アレガドノ邊マデ進行シテ居リマスルカ、マダ十分取調ガ付キマセヌ、實際ニ於テ事柄ガ農家ノ

大キナ利害問題デアリマシテ、私ノ省ニ於テ最モ利害ガ多イノデアリマス、實ハ新聞ヲ見マシテ、アノ取調ヲ今朝來シカカッテ居ルノデアリマシテ、此處デ御報告スル迄ニハ參リマセヌ、商工省ニモ問合セマシテ又外ノ方面デモ取調中デアリマスカラ、此次ノ機會ニ於テ御報告出來ヤウト思ヒマス、暫時御猶豫ヲ願ヒマス

ス、暫時御猶豫ヲ願ヒマス

○子爵片桐貞央君 私ハ前ニ政府ノ持米シタ、大藏大臣ノ都合ガ付キマシタラ……

○男爵三須精一君 若シ今御都合ガ惡ケレバ後刻デモ宜シウゴザイマス

○橋本圭三郎君 大藏大臣ノ來ラレル迄ノ間ニ、皆サン御覽ニナツタコト思ヒマスガ、皆御互ニ心配シテ居タ疏安ノ問題ガ今朝ノ新聞ニ、ドノ新聞ニモアア云フヤウナコトガ書イテアルノデスカラシテ、多分事實グラウト思ヒマスガ、何カ話合ガ付イタト云フヤウナコトガ書イテアルヤウデアリマスガ、若シモウ御公言ナサッテ宜イ時期デアルナラバ伺テ置キタイト思ヒマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○子爵土岐章君 クドイヤウデゴザイマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマスガ、此問題ニ對シテ當局トシテ御承知デアリマスガ、若シモウ御公言ナサッテ宜イ時期デアルナラバ伺テ置キタイト思ヒマスガ、ドウゾクレバモ穀物ノ用途ト云フモニ對シテ十分ナ御留意ヲ願テ米穀法ノ運用ヲサレルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○國務大臣(町田忠治君) 私モ今朝ノ新聞デ初メテ見タノデアリマスガ、アレガドノ邊マデ進行シテ居リマスルカ、マダ十分取調ガ付キマセヌ、實際ニ於テ事柄ガ農家ノ

大キナ利害問題デアリマシテ、私ノ省ニ於テ最モ利害ガ多イノデアリマス、實ハ新聞ヲ見マシテ、アノ取調ヲ今朝來シカカッテ居ルノデアリマシテ、此處デ御報告スル迄ニハ參リマセヌ、商工省ニモ問合セマシテ又外ノ方面デモ取調中デアリマスカラ、此次ノ機會ニ於テ御報告出來ヤウト思ヒマス、暫時御猶豫ヲ願ヒマス

○男爵三須精一君 委員長ニチヨット私ハ

第四部第十三類 米穀法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號 昭和六年三月十八日

過ギル爲ニ買ハナイト云フヤウナコトヲ耳
ニ挾ンデ居リマスガ、陸軍省、海軍省ガ此
米ヲ使用シナイト云フノハ何カ理由ガアル
ノデゴザイマスカ

○政府委員(荷見安君) 只今御手許ニ差上
ゲテ居リマスノハ政府所有米ノ石數ダケデ
單價ハ出テ居リマセヌガ、是ハ毎年年度末、
詰リ三月三十一日現在デ評價ヲ致シマシ
テ、ソレヲ臺帳ニ記入シテ整理ヲ致シテ居
リマスノデ、只今デハ昨年ノ三月三十一日
ノ評價ノ分ガアルバカリデゴザイマシテ、
其後ノ分ガゴザイマセヌ、ソレデ昨年ノ三
月三十一日ノ評價デハ、平均イタシマス
ト、石二十三圓五錢バカリニナッテ居ルト
記憶イタシテ居リマス、尤モ年度別デ違ヒ
マスケレドモ、色々ナ銘柄ノモノガアリマ
スノデ一々ヲチョット申上ゲ兼ネルノデア
リマス、ソレカラ隨時拂下ノ團體ニ對スル
處分デゴザイマスガ、是ハ主ニ地方ノ產業
組合デゴザイマストカ、農會、ソレカラ同
業組合、ソレカラ市町村ノヤウナ公共團體
ナドニ對シテ拂下ヲ致シテ居ルノガ主デア
リマス、ソレカラ陸軍省ノ方デ餘り歡迎イ
タシマセヌノハ、歩減リト申シマスヨリハ
成ルタケ陸軍ノ軍人ニハ新米ヲ食べサセタ
イト云フ氣分ガゴザイマスノト、ソレカラ

曾テ拂下マシタ時ノ米ガドウモ陸軍省ノ方
デハ餘リ氣ニ入ラナカッタ云フヤウナコ
トガアリマシタノデ、其儘話ガ、色ミ打合
ヲ致シテ居リマスガ、進ミマセヌ、併シ若
モ適當ナ米ガアレバ自分ノ方デ買ッテ宜イ
カラ、入札デ買入レル場合ニアナタノ方ニ
相談シヤウト云フ話合ガ漸ク今纏マリマシ
タ、ソレカラ海軍ノ方デハ出來ルダケ使
テ見タ方ガ宜カラウト思フ、尤モ消費量ハ
ソレ程多イモノデハナイガト云フヤウナ話
ガゴザイマシテ、ソレハ御相談ヲ願ヒマセ
ウト云フコトニナッテ居リマスガ、其後御互
ニ忙シイモノデスカラチヨット話ガ拂トッテ
居リマセヌヤウナ譯デゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 三須男爵ニ申
シマスガ、大藏大臣ハ今減稅委員會ノ方デ
答辯中デアリマスカラ濟ミ次第參ルト云フ
コトデアリマス

○子爵片桐貞央君 繢イテ伺ヒマスガ、米
穀需給調節特別會計ノ中デ、現在四年度ノ
預金部ニ何サレテ居ルノハ四十一万五千圓
位オアリニナルヤウニチヨット此表デ見タ
ノデスガ、現在ドノ位オアリニナルデスカ
スカ

○政府委員(石黒忠篤君) 預金部ニ預金ニ
ナッテ居ル方デアリマスカ、借入ニナッテ居
ル方ナンデスカ

○子爵片桐貞央君 此處ニ表ニ出テ居リマ
スノハ預金部ニ預金シテアル金デセウ
トガアリマシト私共
表ナドヲ……只今二月二十八日現在デ申上
ゲマスガ、預金部ニゴザイマス預金ハ百三
十八万四千圓、是ハ二月二十八日現在デア
リマス、詰リ借入金ノ償却ヲ其間ニ於テ致
シテ居リマス

○政府委員(石黒忠篤君) 其チヨット私共
ト云フコトハキチント出スコトハ非常ニム
ツカシイノデアリマシテ、ソレハ買入ノ場
所ガ違ヒマスシ、又他ノ場所ノヲ一緒ニシ
マシテソレヲ一二年經チマシタ後ニ賣リマ
スノデ、其時ニ賣タ米ガ幾ラデ何時何處デ
買タ米カト云フコトハナカヽ判リ悪ク
イノデアリマス、元帳ノ非常ニ大キナ帳面
ニハソレハ無論書イテゴザイマスガ、サウ
云フコトデゴザイマスカラ、年々ノ纏メ
價格ノ表デモオアリニナリマスノデスカ、
最近ノデモ宜シウゴザイマスガ、米穀法發
動カラ今日迄ノ間ニ於ケル……

○政府委員(石黒忠篤君) 米穀法制定以來
ノ處分ヲ致シマシタモノガゴザイマスデ、
ソレハ表ニシテ差上ゲテ宜シウゴザイマス
○子爵片桐貞央君 オアリニナリマスナラ
バドウカ表ニシテ戴キクイ
○政府委員(石黒忠篤君) 承知イタシマシ
タ

○橋本圭三郎君 小サイ問題デチヨット伺
テ置キマスガ、家計費調査實行案ノ調査地
域ノ中ニ私ノ生レタ新潟縣ガ入ラテ居リマ
セヌガ、新潟縣ト云フモノハ雪ノ澤山降ル
コトニ於テハ日本中有名ナ處デアッテ、ソレ
カラ其爲ニ炭ノタント要ルコト、ソレカラ
著物ヲ澤山著ルコト、斯ウ云フコトニ於テ
ハ格段ナ場所デアリマスガ、ソレガ此中ニ
ハ雪ノ降ル處ハ札幌ガアリマスケレドモ、
札幌トモ事情ガ異ニテ居ルシ、ソレカラ寒イ
ト云フ方カラ云フト、仙臺ト金澤ガアリマ
スガ、是モ大分狀況ガ違テ居リマスガ、能
ク此調查ヲ爲サレタ案ヲ拂ヘラレタ人ハ新
潟縣ノ事情ヲ或ハ少シ能ク御調査ニナッテ

居ラヌカト思ヒマスガ如何デアリマスカ
○政府委員(荷見安君) ソレハ御答ヲ申シ
マスガ、大體最初ノ計畫デハ東京ト大阪ト
云フヤウナ大消費地ダケノ家計費ノ調査ヲ
致シマシテ、ソレデ見ヤウカト云フヤウナ
計畫デゴザイマシタ所ガ、段々相談ヲ致シ
テ居リマス中ニ内閣ノ統計局デ調査イタシ
マシタモノハ只今擧ゲテ居リマス場所ヨリ
モ數箇所、筑豊炭坑デアリマストカ、其他
ノ鐵山デアリマストカ云フモノガ多イヤウ
ニナッテ居リマシタノデ、成程家計費調査ヲ
致シマシテソチラノ方カラ米代ノ負擔ト云
フコトヲ考ヘヤウト云フニハ地方的ニ今少
シ分布シナケレバナラヌ、ソレデハ大體地
方分布ヲ今少シ擴メテ見ヤウデハナイカト
云フコトデ北海道、東北、關東、中國、四
國、九州、北陸、ト云フヤウナ方面ノ一ツ
宛デモ代表的ノ土地ヲ入レテ見ヤウト云フ
ノデ、斯ウ云フ風ナモノヲ選擇イタシマシ
タ譯デゴザイマス、ソレデ是ヨリモ少シ個
所數ヲ多ク調べル積リデアリマシタノデス
ガ、豫算ノ關係上ドウシテモ金ガ出マセヌ
ノデ、場所ヲ減ラス爲ニ現在ノヤウナ個所
數ニナッテ居ル譯デアリマス、ソレカラ新潟
ヲ入レマセヌデシタノハ大體大都市ノ勞働
者、給料生活者ナント云フモノノ平均シタ

數ヲ失業統計アタリカラ調べマシタ結果、
北陸ノ方デハ金澤ト云フヤウナ處ヲ入レタ
方ガ給料生活者、労働者アタリノ割合ノ分
布カラ宜カラウト云フノデ、ソコヲヤリマ
シタ譯ニナッテ居リマス、新潟ノ入ッテ居リ
マセヌノハ今ノヤウナ沿革カラ入ッテ居リ
マセヌヤウニナッテ居リマス
○橋本圭三郎君 サウ皆澤山金モ無イデセ
ウカラシテ、其範圍デ以テヤラレルノダカ
ラ是ダケニ調べタモノモ仕方ガナインデセウ
ガ、此案ヲ拵ヘタ人ハ本當ノ事實ヲ知ラヌ
人ガ拵ヘラレタモノト私ハ認定シテ居リマ
ス

○政府委員(石黒忠篤君) 現在ノ内閣統計
局長ハ長谷川赳夫君デゴザイマシテ、越後
ノ雪ノ中デ育ツタ人デゴザイマスカラ、是ハ
十分ニ考ヘマシタコトデゴザイマス
○男爵足立豐君 此案トハ直接ノ關係ヲ有
シマセヌ問題カモ知レマセヌガ、私チヨット
貯穀ニ對スル低利資金ヲ融通スルコトニ致
シマシテ、其自家貯藏ニ便スルト云フヤリ
方デ參テ來ラレタノデアリマス、尙ホ外米
ト云フコトハ、先日申上ゲラレタヤウナ次
第デアリマスルガ、其際ニ當リマシテ罹災
救助基金ノ一部ヲ以テ、地方ガ農村ノ非常
リノ要望ニ基イタモノデアルト云フヤウニ
モ承ハッテ居ルノデアリマス、若シサウナル
トスルナラバ農林省ハ米穀需給調節資金ノ
餘力ガ少イカラ其便法トシテ、斯様ナコト

ヲ御要求ニナッタモノデゴザイマセウカ、或
ハ地方罹災救助ト云フ目的ノ爲ニ之ヲ買上
ゲサシタモノデアリマセウカ、其實情ニ付
テ承ハッテ置キタイ
○政府委員(石黒忠篤君) 是ハ昨年大豐作
色講ジマシタ場合ニ於キマシテ、米穀法ノ
發動ハ無論斯ウ云フ際ニ於テ致スコトハ其
制度ノ使命デアルト考ヘテ居リマシタノデ
アリマス、ナカノソレダケヲ以テシテハ
十分ノ效ヲ奏スルト云フ譯ニモ行キマセヌ
ト云フヤウナ所カラ、極力農家ノ自家貯藏
ヲ強調サセマシテ、各府縣知事等ニモ直接
指揮ヲサセマシテ、其方ヲ進メラレ又大藏
省ノ方ニモ交渉イタシマシテ、三千万圓ノ
貯穀ニ對スル低利資金ヲ融通スルコトニ致
シマシテ、其自家貯藏ニ便スルト云フヤリ
方デ參テ來ラレタノデアリマス、尙ホ外米
ト云フコトハ、先日申上ゲラレタヤウナ次
第デアリマスルガ、其際ニ當リマシテ罹災
救助基金ノ一部ヲ以テ、地方ガ農村ノ非常
リノ要望ニ基イタモノデアルト云フヤウニ
モ承ハッテ居ルノデアリマス、若シサウナル
トスルナラバ農林省ハ米穀需給調節資金ノ
助基金カラ直接ニ買フト云フコトモアラウ
ガ、先づ罹災救助基金ヨリ縣ガ資金ヲ借入
レテ、サウシテ縣ノ責任ニ於テ買入レルト
云フコトガ適當ダラウト云フコトニナッテ
居ル譯ナノデアリマス、デ此コトハ衆議院
ノ方デ矢張リ御質問ガゴザイマシテ、ソレ
ニ對シテ農林大臣ガ直接ニ御答ヘニナッテ
大臣ト昨年ノ十二月ニ直接ニ御協議ニナリ
マシテ、内務大臣ノ方カラ米穀ノ問題デ非
常ニ地方モ困ツテ居ルヤウダガ、云フ御話ガ
アリマシタ際ニ、罹災救助基金ノ差支ナイ
範圍ニ於ケル運用ヲ縣ノ米穀買上げト云フ
コトニ利用ガ出來ルナラバ、ヤッテ貰フコト
ハ誠ニ農林當局トシテモ有難イコトダカラ
ト云フ御話ガアリマシテ、サウシテ此コト
ヲ米穀委員會ニ報告ヲサレルニ當リマシ
テ、相當ノ數量云フコトニ報告ヲスルト云
フコトデアッタノデアリマスガ、農林大臣
ハサウ少イト云フコトデモ意味ヲナサヌノ
ダカラ、農林省ノ希望トシテハマア五十万
石位ヤツテ貰ヘレバ誠ニ都合ガ好イト云フ
希望ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ申シテ宜シ
イカト云フ御話デアリマシタノニ對シテ、
數量ニ付テハ確ト何トモ言ヘヌケレドモ、
農林省ノ希望ガサウダト云フコトヲ言フコ
トハソレハ宜カラウト云フコトデ、五十万
石ト云フコトヲ希望トシテ申述ベラレテ居

ルノデアリマス、從ヒマシテ是ガ今日五十万石必ズ買入レルト云フ計畫ノ下ニ、各府縣ガ罹災救助基金カラ借入ヲ致シテ買上ヲ致シテ居ル狀況デゴザイマセヌ、府縣々々ノ事情ニ應ジマシテハ長官ノ見ル所ニ從ヒマシテ救助基金カラ借入ヲ致シマシテ、幾分ノ買上ヲシテ居ルト云フ事情デゴザイマス

○橋本圭三郎君 私モ一ツ伺ヒタイノデスガ、此間カラ農會ノ人ガ、農會ノ決議ト云フノデアリマスカ、ソコノ所ハ分リマセヌガ、今度ノ此法律デハ當分ノ中ハ此最低價格又ハ最高價格ハ第五條ノ規定ニ拘ラズ、米價指數ノ物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シタル價格ヲ基礎トシテ定ムト云フコトニナッテ居ルガ、ドウモソレデハ甚グ困ルカラシテ、此生產費デ以テ買上ガテ貰フヤウニシタイト云フコトヲ農會ノ人カラ運動ト云ウテハ惡イデスガ、話ガアルノデアリマス、多分我ミ同僚ノ所ヘモソレバサウ云フ人ガ廻ツテ話ヲシテ居ルノデアリマセウガ、其コトハ必ズ農林省ノ方ヘモ第一ニ請願ト云フカ、建議ト云フカ、御頼ミト云フカ知ラヌガ行ツテ居ルダラウト思フノデスガ、農林省ノ方デハソレニ對シテドウ云フ御答ニナッテ居リマスカ、或ハ答ト云

フトヲカシイガ、ドウ御取扱ニナッテ居リマスカ、参考ニチヨット伺ツテ置キタ

○政府委員(石黒忠篤君) 農會ノ方カラ或

ハ大臣ニハ直接ニ陳情等モアツカモ知レ

マセヌガ、私ハ米穀法ノ改正ノ起案ヲ命ゼ

ラレタ立案者デアリマス關係デアリマスカ

ラ、言ツテモ逆モ駄目ダト云フ感ジヲ持ツテ

居リマスノデアリマスカ、私ハマダ何等ノ

運動ニ接シテ居リマセヌノデアリマス、假

リニ私ノ所ニ參リマシテモ私ハ此原案ヲ最

モ適當ナリト考ヘテ出シテ居ルノデアリマ

スカラ、其點ニ關シマシテハ十分ニ此原案

ノ趣旨ノアル所ヲ述べマシテ、直チニ實行

出來得ル率勢米價デ以テ當分ヤルト云フコ

トニ致サナケレバ、米穀特別會計其他ノ關

係ニ於キマシテ只今餘力ノ手薄ニナッテ居

イト考ヘテ居リマスガ、先ニ屢々議會ニ於テ農創定ニ付テノ土地ノ價格ハ反當リハ約四百圓ト云フ目的ヲ以テ自作農創定ヲ獎勵シ若シ四百圓ノ價格ヲ以チマシテノ見込ニ於キマシテ自作農ノ創定ヲ御獎勵ニナルト云タイト云フコトヲ説明ニナシテ居リマスガ、居リマスノデアリマスカ、私ハマダ何等ノマシタ……是ハ昭和五年度デゴザイマス

フコトニナリマスト、今回率勢米價ニ依リマシタ……是ハ昭和五年度デゴザイマス

カ、米價ノ指數ヲ御示シニナッタ所ヲ見マ

スト、十八圓見當ニナッテ居リマスガ、果シ

テ十八圓ト云フヤウナモノヲ……是ハマア

極メテ假定的ナモノデゴザイマスガ、又本

年ノ買上ニナリマシタ此發表ノモノモ十七

圓幾ラトナッテ居リマスガ、サウ致シマスル

ト、四百圓ノ見當ニ於キマシテ自作農ガ買

入レマシタ價格ノ償還年額ハ一箇年二十四

圓七十七錢トナルヤウデゴザイマス、サウ

ノ維持ト云フコトヲヤッテ行クヨリ急ニ應

ズル譯ニ行カナクナルダラウト云フコトヲ

說イテ了解シテ貰フ積リデアリマス

○絲原武太郎君 自作農創定ノ將來ノ御方

針ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス、自作農

御質問ノ自作農創定ノコトデゴザイマス

ガ、政府ハ反當リ四百圓ト云フコトハナニ

モ確定シテ居ルノデハゴザイマセヌ、是ハ

大體ノ統計ノ平均ニ依リマシテ田畠突込ミ

ニシテ四百圓グラムニ當ルカラ、ソレデ以

テ計算ヲシテ見ルト云フト、何町歩ニナル

ト云フヤウナ計畫ヲ致シマスル際ノ推定ノ

一つノ基礎ニ用キマシタノデアリマス、具

體的ニ買入ヲ致シマスルノハ御承知カトモ
存ジマスルガ、自作農維持創設助成規則ニ
ゴザイマスルヤウニ、購入土地ノ價格ハ資
營ヲ自作トシテ維持シ得ルヤウナモノデナ
ケレバナラヌ、其目的ノ爲ニハ別記ノ算式
ニ依テ標準價格ヲ定メ、其價格以下ノ土地
ノ賣值ノモノデナケレバ此資金ヲ融通シテ
買フコトヲ助成シテハナラヌ、斯ウ云フ規
則ニナッテ居リマス、而シテ其算式ハ要スル
ニ趣旨ト致シマシテハ年々ノ小作米ヲ支拂
フト云フ限度ニ借受人ノ年賦金ノ支出ヲ止
メルト云フコトヲ標準ト致シマシテ、ソレ
ヨリモ負擔ガ以内ノモノデナクテハイケナ
イ、斯ウ云フヤウニ致シテ居ルノデアリマ
ス、貸付ノ利率ガ三分五厘以下デ、償還ノ
期間ガ二十四年ト云フコトニナリマシテ、
サウシテ租稅公課ト云フモノノ差引ト云フ
コトヲヤリマシテ、ソレガ丁度二十四箇年
賦ニシマスルト、現在ノ小作料ヨリモ高ク
ナイト云フ程度ニスルノニハ、土地ノ買入
價格ハ幾ラニシナグチヤナラヌト云フヤウ
ナコトガ出ル式ヲ立テテ、細カイ對數表ノ
ノ方カラ講ジテ居リマス、デアリマスカラ
單ニソレガ算出シ得ルヤウニ便宜ヲ農林省

ソレニ依ッテ買ヒマスコトニ相成ルノデア
リマシテ、決シテ四百圓ト云フ所デ賣賣ヲ
見込ンデ居ル譯デハナイノデアリマス、而
シテ其標準ヲ算出ヲ致シマスルニ當リマシ
テ、米價ニ小作料ト云フモノヲ換算ヲ致シ
テ比較ヲスル必要ガアルノデアリマス、ソ
コデ其米價ノ問題方無論關係ヲ持テ來ル
ト存ジマス、此米價ハ其土地ニ於キマスル
確カ五箇年間ノ過去ノ平均米價ト云フコト
ニ云々テ居リマスヤウニ思ヒマス、此五箇年
間ノ米價ハ先づ高イ年モ安イ年モアリマス
ノデ、大體是テ以テ見ル外致方ナイト思フ
ノデアリマスガ、本年ノ如キ豊作ノ後ヲ受
ケマシテ米價ノ極メテ安クナタ場合ニ於
キマシテハ、是ハ隨分變調ヲ呈シテ來ルヨ
トガ已ムヲ得ナイコトト思フノデアリマ
ス、併シ是ハ日本バカリデナク世界中此兩
三年ハ非常ナ農產物ノ豐作デアリマシテ所
謂世界的農業恐慌ガ來テ居ルト云フヤウナ
コトデアリマシテ、外國ノ學者ナドハ之ヲ
稱シテ自然ノムラ氣デアル、自然ガムラ氣
ヲ出シタノデアルト、斯ウ云フコトヲ言々テ
居リマスガ、全クサウ云フ風ニ思ヒマス、
此事情ヲ以テ色ニナ計畫ノ仕組ヲ全部變ヘ
テ行クノモ如何デアラウカト私ハ考へマ
ス、矢張リ平均デ以テ米價ヲ算出イタシマ

シテ小作料ヲ換算ヲ致シテ土地ノ價格ノ算出ト比較ヲ致スト云フコトガ必要グラウト思ヒマス、唯本年ノ如キ時ニ當テ年賦償還金ヲ現金デ致スモノガ非常ニ困ルト云フ事情ハ是ハドウシテモ見ナケレバナラヌ、ソレハ併シ臨時ノ斯ノ如キ年ニ於ケル變態的現象デアル、斯ウ見テ本年ノ年賦償還金ニ對シマスル何等カノ緩和手段ヲ執ルノが必要デアル、斯ウ考ヘテ居リマス、依テ資金ノ本デアリマスル簡易保險ノ積立金運用ノ局ニ當テ居リマスル遞信省ノ方ト相談ヲ遂ゲマシテ、本年ノ償還金ニ付キマシテハ大要申上グマスルト、利子ニ當リマスル部分ダケヲ納メルト云フコトニ致シテ現金ニ相當イタシマスル分ハ本年ハ中間据置的ニ納メナクテ宜シイコトニ致シマシテ今年ノ窮状ヲ救濟ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、此點ニ付テハ最近諒解ヲ遂ゲマシテ地方ニ通牒ヲ發シテ其手續ヲ執テ居リマスヤウナ次第デゴザイマス

關係シマシタ件ニ付キマシテ議會ニ提出セラレマシタ際ニヘ、當局者ハ其見當ヲ御述ベニナッテ居ルノデゴザイマス、併シ實際行ヒマスコトハ只今御述ベニナリマシタ通リナ方法ニ依リマシテ買入價格ヲ決定イタシテ居リマス、併ナガラ既往ノ狀況ヲ見マスルト、殆ド是迄ノ自作農創定デ小作人ガ買入レマシタ所ノ土地ノ價格ハ恐らく四百圓以上デ、事實買受ケテ居ルモノト想像イタサレマスルノデゴザイマス、殆ド是ハ全國確定的ノモノカト思ヒマス、如何様本年昭和五年度ノ米ノ價格ハは非常ニ大豐作ノ爲ニ下落イタシマシタコトデゴザイマスカラ、之ヲ以チマシテ固ヨリ將來此米價ガ必シモノ繼續スルモノトハ私ハ考ヘマセヌ、併ナガラ此米價ノ相當ナ將來ノ價格ニ付キマシテソコトヲ茲ニ論議イタシマス上ニ於キマシテハ、既往ノ自作農ノ創定セラレマシタ人ミガ買入マシタ所ノ價格ト云フコトニ付キマシテモ、私ハ相當考慮ヲスベキモノト考ヘテ居リマスノデゴザイマス、無論自作農ニ對シマシテ本年ノ如キハ利子ダケノ償還デ現金ヲ償還サセナイト云フヤウナ方法ヲ御執リニナッタコトハ極メテ適切ナ事柄デゴザイマス、將來私ガ憂慮イタシマスコトハ米價ガ非常ニ、非常ト申シマスト極端デア御

リマスガ、今日ノ米價ガ餘リニ是ガ價格ガ上ボリマセヌト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、必ヤ此自作農ノ創定デ相當ナ茲ニ衝突ヲ起シマシテ、所謂小作爭議ナドヲ惹キ起スト云フコトノ爲ニ、尙又國家根本ノ農業政策ノ爲ニ獎勵ニナッテ居リマス、又大イニ是ハ獎勵シナケレバナラヌ所ノ自作農ノ創定ニ付キマシテ、相當茲ニ米價ノコトニ付テハ考慮ヲ致サネバナラスコトデナイカ、此コトヲ考ヘテ居リマスノデアリマス、ドウゾ此點ニ付キマシテハ農林當局ニ於カレマシテモ相當目作農ノ創定ト米價ト云フヤウナ關係ヲ有スルト云フヤウナコトニ付テハ御考慮ヲ希望シテ置キマス。

○上山滿之進君 私ハ米ノ買入ノ方法ノ一

ツニ付テ御尋ラ致シタイ、政府ハ米ノ買上ヲナスニ付キ昨年以來二回行ハレタ場合ニ於テ二百万石、百万石ト云フモノヲ府縣ニ割當テ各府縣デ御買ヒニナッタラシイノデアリマス、是ハ多分各府縣農會アタリニガ一ツノ方法デアリマスカラ、必シモ政府ヲ非難スル意味デハアリマセヌケレドモ、私ノ見ル所デハ頗ル違フノデアリマス、大體買上ト云フコトハ何ヲ以テ目的トスルモノデアルカ、ト云フト米價ヲ上ダヤウト云

フ米價ノ暴落ヲ防ギタイト云フコトガ目的デアリマス、無論誰モ異論ノ無イコトト思ヒマスガ、儲テ物ノ價格ト云フモノハドウ云フ風ニナッテ上リ下リスルカ、殊ニ米價ハ如何ニシテ上リ下リスルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、大消費地ニ於ケル現存米ノ數量ノ過不足ニ依ッテ或ハ暴騰シ或ハ暴落スルト思ヒマス、ソレヲ各府縣ニ分ケテ買フト云フコトニナリマスト、集メレバコソ相當ナ分量ニナリマスモノヲ小サク碎イテ方々カラ取ルト云フコトニナル、ソレデハ何ウモ早ク云ヘバ更ニ效キ目ガナイト、斯ウ思フノデアリマス、大消費地デ固マッタ分量ヲ買上ゲデ、大消費地ノ米ノ現存量ヲ著シク少クスルト云フコトニナッテ、大消費地方ニ向ッテ、生産地ヘ向ッテ、米ヲ取り寄せナケレバナリマセヌカラ、生産地ヘ向ッテ行割當テ各府縣デ御買ヒニナッタラシイノデアリマス、是ハ多分各府縣農會アタリニハ希望ガアッタノデアリマセウカラ、又ソレガ一ツノ方法デアリマスカラ、必シモ政府ヲ達セナイヤウニ思フ、現ニ第二回ノ買上ゲノ残リノ分ヲ消費地グケデオ買ヒ上ダゲニナッタナラバ、直チニ買ハレタト云フノガ、此今私ノ申スコトヲ證明スルモノデナイカト思フ、兎角農家ハ、非常ニ目下ノ窮状ニ

トノ、モノノ大體根本ヲ考ヘテ見ルト、目的ガ、直接ノ目的ハ日本全國ノ米價ヲ騰ゲテ來タノデハナイカト思ヒマスガ、併シコスルト思ヒマス、ソレヲ各府縣ニ分ケテ買フト云フコトニナリマスト、集メレバコソ相当ナ分量ニナリマスモノヲ小サク碎イテ方々カラ取ルト云フコトニナル、ソレデハ何ウモ早ク云ヘバ更ニ效キ目ガナイト、斯ウ思フノデアリマス、大消費地デ固マッタ分量ニ纏メテ買ハナケレバ、一定ノ分量ノモノヲ、水ノ大キナ水ノ、廣イ水ノ中ニ落シテシマッテハ、毒ニモ藥ニモナラナイケレドモ、是ガ僅カナ分量ノモノノ中ニ落スト、是ガ非常ニ或ハ毒ニモナレバ、藥ニモナルト云フコト同ジ道理デ、何ウシテモ米價ヲ騰ゲルニハ、自分ノ家ノ米價ダケヲ騰ゲテ貴ウト云フノデナインデ、全國ノ米價ヲ騰ゲテ貴ウト云フコトニナリ、斯ウ云フコトニ私ハナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニ私ハ

ト云フコトモ御說ノ通リデアリマス、又所ニ依リマシテハ大集散地ト何等關係ナイ米譯ダト考ヘルノデアリマス、力ヲ分散スルト云フコトモ御說ノ通リデアリマス、又所ニ依リマシテハ大集散地ト何等關係ナイ米譯ダト考ヘルノデアリマス、ソレ等ノ點カラ見マシト云フモノモ分散シテ買フト云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレ等ノ點カラ見マシト云フコト同ジ道理デ、何ウシテモ米價ヲ騰ゲルニハ、自分ノ家ノ米價ダケヲ騰ゲテ貴ウト云フノデナインデ、全國ノ米價ヲ騰ゲテ貴ウト云フコトニナリ、斯ウ云フコトニ私ハナケレバナラナイ、斯ウ云フコトニ私ハ

ト云フコトニ付テ希望ガ強クアリマシタ、御話ノ中ニモアリマシタ通り、大豐作ヲ前ニ控ヘマシテ、各地方ノ農村ノ人々ハ其間多少ノ誤解モアッタヤウニ存ジマスルガ、隨分熱烈ナモノガアリマシテ、地方割當買入ト云フコトニ付テ希望ガ強クアリマシタ、併シ其理由ノ一つ致シマシテハ、中央市場其外大市場ニ於テ買上ガ行ハレテモ、結果商人ガ地方ニ出廻シテ買フ場合ニハ非常ニ直段ヲ叩カレル、政府ニ買テ貰ヘバソレハ必ズシモ宜イ値デ買テ貰ハナクテモ叩カレル處レガナイト云フコトカラ、ドノ農

○政府委員(石黒忠篤君) 大體上山委員ノ仰シヤッタ同ジヤウニ感ジテ居リマス、

昨年ノ買上ニ當リマシテモ色ニナ要望モ議ト思フ、兎角農家ハ、非常ニ目下ノ窮状ニ

アリマス爲ニ、何デモ自分ノ所カラ買テ貰ヘバ宜イ、自分ノ所カラ買テ貰フト自分シテハ米價ト云フモノノ成立ツノハ東西ノ兩市場ニ於テ、茲デ需給ノ狀況ヲ組合ハサレテ米價ニナッテ現ハレル、斯ウ云フノデアリマシテ、ドウシテモソレガ全國ノ米價ヲ支配スルト云フコトニナルノデアルカラ、主トシテサウ云フ大市場ニ於テ買フコトガ全國ニ對スル米價ノ調節ト云フコトニ相成ル

シテハ米價ト云フモノノ成立ツノハ東西ノ兩市場ニ於テ、茲デ需給ノ狀況ヲ組合ハサレテ米價ニナッテ現ハレル、斯ウ云フノデアリマシテ、ドウシテモソレガ全國ノ米價ヲ支配スルト云フコトニナルノデアルカラ、主トシテサウ云フ大市場ニ於テ買フコトガ全國ニ對スル米價ノ調節ト云フコトニ相成ル

家ニモ是ガ行渡ルノデハナイノデアリマセ
ウケレドモ、直接ノ政府ノ買上ト云フコト
ヲ非常ニ熱望シテ居ルノデアリマス、ソレ
カラモウ一つノ理由ト致シマシテハ、從來
ノ買入レニ對シマシテハ買上ノ事務ヲ致シ
マスル集散市場所在ノ縣、若クハ附近ノ縣
ニシテ大體ノ應募數量ト云フモノヲ充タシ
テシマウヤウナ結果、遠隔ナル地方ハドウ
シテモソレニ這入ルコトガ出來ナイト云フ
ヤウナ事情ガアッタコトモアリマシテ、ソレ
等ノ府縣カラ今回ノヤウナ豐作ニ於テハ、
確實ニ自分ノ縣カラモ幾ラカ買シテ貰ヘル
ト云フコトヲ確保シテ貰ハナケレバナラヌ

ト云フヤウナ意味ガ、府縣割當ノ一つノ主
張ノ原因ニナッタヤウニ思フノデアリマス、
サウ云フコトカラ致シマシテ此希望ガ非常
ニ熱烈デアリマシタモノデアリマスカラ、
米穀委員會等ニ諸リマシテ此方法ヲ執タ
ノデアリマス、併シ御話ノ後段ニアリマス
ルソレノ結果カラ見テドウ考ヘルカト云フ
コトニナリマスト、私共ハ矢張リ此買上ノ
方法ハ非常ニ農家ノ爲ニ成功シタモノデア
ルト云フコトガ穩當デアラウト考ヘマ
ス、集散市場デ以テ集中シテ買ヒマスルコ
トニ對シマシテ多少懸念ニナリマスノハ、
イ米ヲ食ヒタイナラ黒イ米、構ハヌデ置ク

時ニ依ッテハ……常ニ必ズアルト云フ譯デ
ハゴザイマセヌガ、時ニ依ッテハ此買上ゲニ
應募ノ見込ミヲ以チマシテ、米ガ集散市場
ニ集中シテ、其結果、買上ゲ以上ノ數量ガ
集テ參リマスト、所謂應募漏レ米ガ一時市
場ニダブ付ク、サウシテ買上ゲノ後トガ必
ズ價格ノ低落ヲ來スト云フヤウナコトハ、
時々ナイデハナイ、此コトハ已ムヲ得ザル
缺點ト致シマシテ、時ニ起ルコトガアルヤ
ウト思ヒマスガ、ソレラヲ除キマシテ
ハ、大體ニ於テ大キナ市場ノアル場所デ買
ウコトガ適當デアラウト私ハ考ヘテ居リマ
ス

○橋本圭三郎君 ドナタカラモ質問モナイ
ヤウデスカラ私モウ一つ伺ヒマス、ドウモ
學者ト云フモノハイロ／＼ノコトヲ自分ノ
說ヲ述ベラレルノデ、我ミ無學ノ者ハ非常
ニ迷フノデアリマスガ、此米ニ付テテ或ハ
其半搗米ガ宜イトカ、或ハ七分搗ガ宜イト
カ、或ハ胚芽米ガ宜イトカイロ／＼ナ說ガ
ドレガ宜イカト云フコトヲ一つ知リ……一
番宜イ米ヲ知ラシテ貰ヒタイト思フ、其結
果ハ從テ此米ノ産額ト云フコトニ非常ニ
違ウノデアリマス、或ハ半搗米デ宜イト云
フモノト、ソレカラ七分搗デ宜イト云フコ
トニナレバ、分量ガ違ウノデアリマス、而
シテソレカラ取レル所ノ我ミノ身ニ必要ナ
ト云フノガ宜イノカモ知レマセヌガ、併ナ
ガラ此間土岐子爵カラ御話ニナツタヤウニ
要ダト云フヤウナ御話デ、私共モ尤モノコ
トト思ヒマスガ、此米モ今ノヤウニ或ル學
者ハ半搗米ガ宜イト云フ、或ル學者ハ今ノ
ヤウニ胚芽米ガ宜イ、我ミノ所モ度ミマア
迷ハサレルト言テハ惡イガ、ソレニ依テ
シテドッヂガ宜イカチットモ實ハ分ラナイ、
ア農林省ニハソレノ機關ガナイカモ知レマ
セヌガ、イロ／＼内務省ナドニ於テハ衛生
試驗所トカ、或ハ營養試驗所トカ云フヤウ
ナ所モアルヤウデス、ソレニ對シテハ國民
ハ皆負擔ヲシテ、サウ云フ機關ヲ拵ヘテ居
ルノデアリマスカラシテ、我ミノ、國民ガ
ドレガ宜イカト云フコトヲ一つ知リ……一
百姓ノモノハ自分ガ米ガアッテ困、テ居ルト
云フコトハナカ／＼六ヅカシイデセウガ、
是モ政府ノ方カラ餘リ干渉々々ト云フコト
ハ私大嫌ヒデスケレドモ、農會ト云フヤウ
ナモノガアルシ、イロ／＼ノ機關モアルノ
デスカラ、此子供ノロニ合ウヤウナ米ダケ
デ以テオヤツニスルヤウナモノヲ私ハ考ヘ
レバ出來ヌコトモナシ、ソレ／＼宣傳モ

出来サウナモノト私ハ思フノデアリマズ
ガ、サウ云フコトニ付テ政府ハ御考ヘニナッ
タコトハナイノデアリマスガ、吾々ノ所ニ
熱心ナル人ガソレヲ持テ來テ斯ウ云フコ
トガアッタ、是ニ依テ若シ是ガ徹底スレバ、
此米ガ下ツテ困ル米ガタントアッテ困ルト云
フ今日ノ不況ヲ救濟スルコトガ出來ルガド
ウデスカト言ッテ、今ノ說ヲ持ッテ來タ人ガ
アリマス、サウ云フコトニ付テハ當局ハ耳
ヲ傾ケラレタコトガアリマスカ、ドウデア
リマセウ、チョット伺ヒタイ

ヲ如何ニ調節スルカト云フ問題デ少クトモ此食糧問題ノ方ハ此問題ヲ決定シテ戴キタ積リデ、前内閣ノ時ニ私共進言ライタシマシテ、内閣デ拵ラヘテ戴キマシタ、所ガソレガ始マリマシテカラ米ノ方ニ關シマシテハ、サウ云フ方面ニハ問題ガ行カズニ、糠ヲ食フコトガ宜シイトカ、或ハ胚芽米ガ宜イトカ、イヤ七分搗ガ宜イトカ、必ズシモ胚芽ト云フ問題デヤナイト云フヤウナ議論ニ行ッテシマイマシテ、畜產トカ、漁業トカ云フ問題ハ比較的當初ノ目的ノヤウニ行キマシタガ、米ノ問題ハ總テサウ云フ問題デ年ヲ暮シテシマイマシテ、而モ胚芽米ガ宜イカ、七分搗ガ宜イカト云フヤウナコトデ決定ガ付カズニ、現内閣ニ於テハモウ此以上委員會ヲ繼續シテ、此問題ヲ議シテモ如何デアラウカト云フコトデ、寧口是等ハ内務省ノ國民衛生ノ事項ヲ審議スル委員會モ別ニアルノダカラ、サウ云フ所デ續キノ議論ヲ起シテ貰タ方ガ宜カラウト云フヤウナ考カラ、委員會ハ廢止ヲサレテシマッタ、私ハ當初ノ目的ニ對シマシテ極メテ遺憾ダト思ッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ事情デアリマシテ、是ハ我ガ國ノ榮養衛生ノ學界ニ於テ速カニ定論ヲ決定ライタ

シテ行クヤウナコトニシテ貰ハナケレバ
ダ國民ハ迷サレルコトダト云フ感ジヲ持ツ
テ居ラレル、是ハ橋本委員ト私共モ御同感
ニ考ヘテ居リマス、内閣ノ方ト致シマシテ、
人口食糧問題ノ調査會ノ引續キノ問題ヲ是
非何等カノ形式ヲ以チマシテ、速カニ解決
シテ貴ヒタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ
後段ノ問題ノ米ノ斯ノ如キ多イ年ニ於キマ
シテ、子供等ノ間食ニ握リ飯ニ黃粉ヲ付
ケテ喰フト云フヤウナコトヲ獎勵シタラド
ウカト云フ熱心ナル主張者ハ、私ノ所ニモ
來ラレマシテ、非常ニ熱心ニ主張サレタノ
デアリマス、併シ此コトニ關シマシテハ、
非常ナ熱心ト、思ヒ付キノ結構ナルコトハ、
私同意ヲ表シタノデアリマスガ、之ヲドウ
云フ風ニシテソレナラバ實現スルカト云フ
問題ニ對シマシテハ、ドウモ御話ニナリマ
シタヤウニ全ク干渉シテヤル譯ニモ行カナ
イ、ソレデ御氣付キニモアリマシタヤウニ
農會等ニ對シテ紹介ヲシテ見タラドウカ
ト、斯ウ考ヘマシテ、其コトヲ申シマシタ、
即チ農會等ニ於テ米ノ値ヲ高クスル運動バ
カリシナイデ、大臣ノ熱心ニ獎勵サレテ居
ラウ、又外カラ菓子ヲ買フト云フヤウナコ
ル自家貯藏ト云フコトニ付テヤッタラ宜カ

シテ菓子ヲ買フ代リニ消費スルト云フコト
ヲ考ヘ、方法ヲ示シテ宣傳ヲスルト云フノ
モ一つノ方法デアラウト云フヤウナ意味
デ、農會へ行ッテ一ツ話ヲサレタラ宜カラウ
ト云フコトヲ懇々勧メテ置キマシタ、或ハ
話ヲシタカト考ヘマス、サウ云フ譯デ私共ト
致シマシテモ其コトヲ聞イテ居リマス、併
シ農林省ト致シマシテ、之ヲ直接ニ宣傳獎
勵ヲ致シマスル手段ハ別ニ持ッテ居リマセ
ヌノデ、其點ニ付テハ其儘別レマシタヤウ
ナ次第デゴザイマス

○政府委員(石黒忠篤君) 豊年ノ時ニ多收穫ノ獎勵ハ多少矛盾ノ感モ致スヤウニ思ヒマスガ、此大豐作ト申シマスモノハ、先キモ申上ゲマシタヤウニ所謂自然ノムラ氣カラ來テ居ルトモ考ヘラレルノデアリマシテ、決シテ之ヲ以テ何時モ斯様デアルト云フ風ニ考ヘテハナラヌノデアリマス、ノミナラズ人口ハ非常ナ勢ヲ以テ進ムノデ、而シテ農耕地ノ擴張ト云フコトハデス、中ミムヅカシクアリ、海外ノ移民ト云フモノモ決シテ澤山移民スルコトハ出來ヌト云フ國情ノ下ニ於キマシテ、工業ガ人口ヲ收容シテ吳レルダケノ堅實ナル發達モ中々急速ニハ行カヌト云フ時ニ當リマシテハ、多數ノ農民ガ極メテ小サナ面積カラ、出來ルダケ餘計取ル、サウシテ地力ヲ弱ラセズニヤッテ行クト云フコトガ、多數ノ農家トシテモ亦國民全體ニ取りマシテ、國家ト致シマシテモ望マシイコトト考ヘマス、其爲ニハ本年ノ如キ大豐作ノ年ト雖モ、多收穫ニ對シテ繼續トダト考ヘテ居ルノデアリマス、多收穫ハニ是ガ獎勵ヲ致シテ行クコトハ適當ナコト

ドノ位取レルカト云フコトヲ實地ニ實驗シ
テ見テ、サウシテ經濟ノ問題ハ次ニ……
ソレダケ取レルモノダト云フコトガ技術
上明カニナッタ上ニ於テ、更ニソレヲ經濟的
ニ實現スルノニハ如何ニシテ行クカト云フ
コトガ、直ニソレニ次イデ研究セラレベキ
モノダト、斯ウ考ヘラレルノデアリマス、
行キ得ル、到達シ得ル極限ヲ實地ニ確メテ
見テ、而シテソコマデヤルノニ最モ經濟的
ニヤルニハドウシタラ宜シイカト云フコト
ガ、其次ニツイテ來ルベキモノダト思ッテ居
リマス、其意味ニ於テ、斯ノ如キ年ニモ矢
張リ多收穫ノ獎勵ト云フコトヲヤ、テ宜カ
ラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラソレ
ノ實現ニ對シマシテ堆肥等ノ獎勵ト、深ク
耕スト云フコトノ獎勵ガ必要ダト云フ風ニ
思フガト云フ御話デアリマスガ、全ク御同
感デゴザイマス、小ナサ面積デ澤山ノ收穫
ヲ得、又度々收穫ヲ得ルガ爲ニハ、ドウシ
テモ土地ヲ深ク耕スト云フコトガ必要デ、
廣ク土地ヲ使ヒ得ナイ點ニ於テハ、深ク土
地ヲ使フト云フコトガ極メテ必要ダト思ヒ
マス、尙ホ地力ヲ維持セシメル上ニ於キマ
シテハ、ドウシテモ金肥以外ニ堆肥ヲ十分
ニヤラナクチヤイケナイ、斯ウ考ヘルノデ
アリマス、堆肥ヲ製造スルコトニ付テノ原

料、是ハ我農家ノ經濟上ニ於キマシテモ、
リマス、又綠肥ノ如キモノモ同ジ土地ノ裏
作ト致シマシテ、十分ニマダ生産シ得ル餘
地ガ澤山アル、之ヲヤリマスレバ、地力ヲ
維持ヲシ、作物ノ栽培ノ上ニ於テ十分ニ效
力ヲ生ジ、サウシテ農家ガ金錢支出ヲセズ
ニ濟ムノデアリマス、而シテ其餘地ガアル
ト云フノデアリマスカラ、是非是ハ獎勵シ
ナクチヤナラスト、斯ウ考ヘテ居リマス、
今回御協賛ヲ願ヒマシタ昭和六年度ノ豫算
ニ於キマシテモ、甚ダ十分ダトハ申シマセ
ヌガ、自給肥料ノ獎勵ノ豫算ヲ計上イタシ
マシテ置キマシタ、是ハ主トシテ綠肥及び
綠肥ニ必要ト致シマス根瘤「バクテリヤ」配
付ノ費用、及ビ研究ノ費用デゴザイマス、
尙ホ其外ニ堆肥ノ方ト致シマシテハ、有畜
農業ノ獎勵ヲ致シマス、是ハ無論畜産ノ方
面カラノ目的ヲ以チマシテ獎勵スルノデア
リマスガ、同時ニ相當多クノ部分ガ廐肥ノ
製造ト云フコトニ相成リマスノデ、是モ農
家ノ自作肥料ノ獎勵ノ意味ガ多分ニ含マッ
テ居ル經費デアリマシテ、是モ豫算ニ計上
イタシマシテ來年度ヨリ實施ニカカリタイ
ト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス

シタガ、其中農林當局トシテハ多收穫ト云
フトハ經濟的ノ根據ヲ得ナケレバナラヌト
云フコトデゴザイマシタガ、勿論私モサウ
考ヘルノデアリマス、就キマシテハ、農林
省トシテ、經濟的方面ニ付テノ多收穫栽培
法ノ研究ガ出來テ御出デニナリマスカドウ
デスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、先
達ツテ私ハ東京地方ニ旅行イタシマシテ岩
手縣ニ参リマシタガ、此多收穫ト云フコト
ニ付テハ岩手縣全體ガ產業ノ合理化、即チ
農業ノ合理化ト云フ立前カラ各農家ニ付
テ、一年ノ計畫ヲ立テマシテ、サウシテ農
業全體ニ對シテノ一年ノ計畫ヲ立て、仕事
ヲシテ居ルノヲ見マシタ、ソレニ付テハ岩
手縣ノ西磐井郡金澤村ニ参リマシタガ、ソ
コノ村デハ主トシテ堆肥ヲ使フテ多收穫ノ
計畫ヲヤリ、著々其成績ヲ擧ゲテ居ルヤウ
デアリマスガ、農林當局トシテハ、サウ云
フ方面ニ對シテ經濟的基礎ノ上ニ立ツテノ
多收穫ノ研究ト云フコトヲヤッテ御出デニ
ナリマスカ、ドウカ其點ヲ伺ヒタイト思ヒ
マス

作物ニ付テノ研究的調査ヲヤリマスルダケ

デハ、目的ヲ達シナイト考ヘマス、ソレニ

ハドウシテモ經營ノ結果ノ損得ト云フコト

ヲ自身ニ感ズル、自身ノ收支ニ於テ之ヲヤ

ル、農家ヲシテヤラセルコトガ最モ生命ノ

入^シタ生キタ工夫ニ相成ルコトト考ヘテ居

ルノデアリマス、其意味カラ致シマシテ、

帝國農會ニ補助金ヲヤリマシテ、サウシテ

實業農家ノ經營ノ改善ノ調査ト云フコトヲ

豊原が家、農家が農家

経営、教ノマニテ、或ヽ燐作、或ヽ其他ノ

經營上到シーリング、壁紙作業、その他

農業ニ付キマジテ 各特色フル 説説テ 至
六二

シマシテ、ソレヲヤミテ見ルト云フコトニ

案ヲ出サセマシテ、ソレヲ審査イタシマシ

タ上、數年ノ間ノ記帳ニ依テ之ヲ明カニス

ルト云フコトノ調査ヲ實行イタシテ居リマ

ス、其結果ハ先般極ク簡易ニ分リ易ク書イ

タ「パンフレット」ニ出テ居リマスカラ、追^ア

テ御手許ニ御届ケシタイト思ヒマス

○子爵土岐章君 モウ一つ私ハ伺ヒタイト

思ヒマスガ、現今農林當局トシテハ農事改

良其地ニ付キマソテ主トニテ帝國農會ヲ使

良其惟二位主一以六帝國慶會之使

ハシテ仕事ヲサシテ居ルヤウテアリマス

ガ、私ノ承知シテ居リマス範圍デハ、各道府

縣ノ農事試驗場ト云フモノガアリマスガ、

ノ、勿論全部ト云フコトハ斷言出來マセヌ
ガ、多クハ其試験研究ト云フモノガ殆ド同
ジ型ニ嵌^{マサニ}テ、私ハ其研究ガ特色ヲ現ハレテ
居ラヌト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス
ガ、農林當局トシテハ農事試験場ヲ整理サ
レテ、氣象風土等ヲ同ジウスル地方ニ於テ
ハ之ヲ統一シテ、モウ少シ能率的ノ試験研
究ヲヤラレルヤウナ御意思ハナイノデアリ
マスカドウデスカ、其點ヲ伺ヒタイノデア
リマス

法ト云フモノガゴザイマシテ、各種ノ試験場ニ對シマシテ、補助ヲ致スト云フコトニナフテ居リマス、是ハ屢々ノ行政財政ノ整理ニ遭ヒマシテ大變減少テ居リマスガ、其費用ト、ソレカラ其外ニ米麥其他ノ農作物ニ付キマシテ折、御協賛ヲ得テ頂戴ヲシテ居リマスル改良獎勵ノ費用ノ中カラ割キマシテ、ソレノ事業ヲ指定ヲ致シマシテ、農林省ニ於キマシテハ、成ベク地方ノ農事試験場ニ特色ノアルヤウナ仕事ヲサセルコトヲ努メテ居リマス、或ル試験場ニ於テ小麥ノ改良ヲヤッテ居レバ、ソレニ集中的ニ國費ノ補助ハ成ベクソレニ付テヤル、或ル試験場ニ於テ農具ノ研究ヲサセルナラバ、成ベク農具ノ研究ハソコニ於テサセル、又或ル試験場ニ於キマシテハ「ラミー」ノ栽培ノ試験ヲ集中的ニサセルヤウニ國費補助ヲサセルヤウナコトニ致シマシテ、成ルベク適當ナル地方ニ於ケル適應作物ニ付キマシテ集中的ニ指定補助ヲヤルト云フヤリ方デ今日迄來テ居リマス、而シテ其等ノ試験場ニ對シマシテハ問題々ニ付キマシテ毎年場長ヲ特別ニ會合ヲ致サセマシテ農林省ノ試験場ト聯絡ヲ致シマシテ、品種改良等ノ聯絡ヲ常ニ取ルヤウナ方法ヲ執テヤッテ居リ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是デ休憩致シ
テ午後一時半カラ開キマス
午前十一時五十一分休憩
午後一時三十九分開會
○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ午前
ニ引續キマシテ開會イタシマス
○男爵三須精一君 大藏大臣ニ御質問イタ
シタイト思ヒマス、昨日私ハ農林大臣ニ對
シテ米穀需給調節特別會計法中改正法律案
ニ付テ御質問ヲ致シマシタ、此事ハ大藏當
局ノ方ニ非常ナル關係ガゴザイマスノデ、
大藏大臣ニ御尋ネヲシタイト思フノデアリ
マス、米穀法ノ特別會計ハ他ノ特別會計ト
違ヒマシテ借入金ヲ以テヤリマス故ニ、相
當ノ利息ト云フモノガ年々加算サレテ居ル
ノデアリマス、此點ニ付キマシテ政府ハ將
來其特別會計ヲ會計法ニ付テ改メル御意思
ガアルヤ否ヤト云フコトガ第一點デアリマ
ス、第二ニ御尋ネ致シマスコトハ現在ニ於
ケル所ノ損失額ト云フモノハ非常ナ額ニ
ナツテ居リマスガ、是ガマダ整理ニナツテ居
リマセヌガ、將來損失額填補ニ付テノ方法
ハ如何ニ爲サル御考デゴザイマスカ、是ガ
第二點デゴザイマス、之ニ付テ……

節特別會計ト云フモノハ、多數ノ特別會計ガアリマスガ、其中デ非常ニ何ント申シマ唯單ニ米穀ヲ買入レテ、ソレニ依テ損ヲシタトカ云フバカリノ意味ニ於テ出來ガ惡イト云フノデハアリマセヌデ、米ヲ買ヒマス、事務費ヲ拂ヒマス、倉庫ヲ持ヘマス、總テノ資金ガ皆利息ノ附ク金デアリマシテ、誠ニ不合理ニ出來タ特別會計デアリマスノデ、斯ウ云フ特別會計ガ永クアリマシテハ非常ナ財政上不都合ナ結果ヲ來シマスノデ、成ベク早ク之ヲ整理セヌケレバナラヌト、斯ウ云フコトハ疾ウニ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ一方カラ申シマスト、米穀法ノ根本ノ整理が出來テ、是マデノヤウニ、唯米ヲ買ヒマシテモ、賣リマシテモ、全ク標準ナシニ、腰ダメデ米穀法ガ出勤スルトガ想像イタサレマスノデ、米穀法ノ根本改正ト云フコトガ其爲ニ計畫サレタノデアリマス、サウ致シマシテ大藏省ノ意見ト致シマシテハ、出來ルナラバ、同時ニ此特別會計ノ整理ヲシテ行カウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居マス、サウ致シマシテ大藏省ノ意見ト致シ度ノ豫算ヲ持ヘマス數箇月前、即チ昨年ノ

五六月頃カラ非常ナ巨額ナ歲入減ヲ來シマシタ爲ニ、昭和六年度ニ於キマシテ此特別會計ノ負擔イタシマスル所謂損失總額ヲ整理ヲスルト云フコトノ餘地ガナクナリマシタノデ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、此年度末マデニ凡ソ一億五千万圓ノ損ヲ豫想シテ居リマス、ソレヲ公債ヲ交付シテ之ニ依テ整理ヲスル、斯ウ致シマシテ勘定ヲザット致シマシテモ一億五千万圓ノ利拂、減債基金、發行差額等ヲ勘定イタシマスト年々千萬圓位ノ金ヲ要シマス爲ニ、昭和六年度ニ於キマシテハ其整理ヲ致スコトガ出來ナカッタノデアリマス、併シ只今申シマスヤウニ、此特別會計ハ永クハ此儘デ置カレナイ、一般會計ニ於テ、只今ノ損失ハ引受ケテ整理ヲシャウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、併ナガラ一方カラ將來ハ金ノ融通ヲ付ケタ方ガ、金利ガ安クナルト云フコトノ御答辯ガゴザイマシタガ、大藏大臣ハ其間ノ御意見ハ如何デゴザイマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 三須男爵ニ御答へ致シマスガ、其通リニ御承知ヲ下サッテ宜シウゴザイマス
○國務大臣(伯爵堀田正恒君) 大藏大臣ニ對スル御質問ハモウ宜シウゴザイマスカ
○子爵土岐章君 先達農林大臣ハ、米穀證券ニ對シテノ資金ヲ一般會計カラ借入レルコトハ、段ニニ資金モ無クナッタシスルノアルカラ、此方面カラ將來ハ金ノ融通ヲ付ケタ方ガ、金利ガ安クナルト云フコトノ御答辯ガゴザイマシタガ、大藏大臣ハ其間ノ御意見ハ如何デゴザイマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井上準之助君) 土岐子爵ニ御答へ致シマスガ、大體今般アレヲ米穀證券ニ致シマスコトハ、只今ノ御間ノ意味ト、モウ一つノ關係ガゴザイマシテ、只今米穀法ニ參リマス金ハ全部預金部カラ出シテ居マス、兩様ノ意味カラ參リマシテ、アレヲ米穀證券ト致スコトニシタノデアリマス歩デ割引ガ出來ルダラウトスウ考ヘテ居マス、兩様ノ意味カラ參リマシテ、アレヲ米穀證券ト致スコトニシタノデアリマスノ内容ニ付テ少シ伺、テ見タイト思ヒマス、ソレハ自給肥料ノ評價デゴザイマス、是ハ肥料價值ニ依リマスカ、或ハ生產費ニ依リマスカ、何レニ御決定ニナリマスカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ詰リ效力ノ
方ニ依ル譯デアリマス

○男爵足立豊君 次ニ伺ヒタイノハ、自家
勞賃ハ日傭勞賃ニ依ルト云フ御方針ノヤウ
デアリマスガ、自家勞賃ヲ日傭勞賃ニ依テ
算出シマシタナラバ、相當生産費ガ高イモ
ノニ付クヤウニ考ヘマスガ、其點ハ…

○政府委員(荷見安君) 其點ハ色ミ研究イ
タシマシタガ、大體、自家労力ハ一年ヲ通
ジテノ勞力デアリマスカラ、年傭ニ近イヤ
ウナモノデハナイカト云フ説ガゴザイマ
ス、併ナガラ現在我國ノ農業狀態ニ於キマ
シテハ年傭ト云フヤウナ制度ハ段々少ク
云フ實例ノナイ地方モゴザイマス、ソレカ
ラ季節傭ニシタラドウカト云フヤウナコト
モアリマスガ、季節傭ニ致シマスト、是ハ
非常ニ高イコトニ付ク關係ニナリマスノ
デ、矢張リ日傭勞賃ガ宜イノデハナイカ、
其日傭勞賃ガ宜イノデハナイカト申シマス
譯ハ、農家ガ米作ニ使ヒマス労力ト云フモ
ノハ、最モ力ヲ盡シマスル勞賃デアリマス
カラ、年傭勞賃ヨリハ高イ管デアル、併ナ
ガラ自家労力デアリマスカラ、ソレヲ特殊
ニ高イ季節傭ノヤウナ勞賃ニ依ルコトハ、
今御話ノヤウニ生産費ヲ高メルバカリデア

ラウ、日傭勞賃ニ依ルナラバ、一番穩當ナ
所デアラウ、又調査ノ上ニ於テモ日傭ハ各
地方ニゴザイマスカラ、其調査ノ結果ヲ得
ル上ニ都合ガ好イダラウト云フヤウナ譯
デ、日傭勞賃ト云フコトニ決メマシタノデ
アリマス

○男爵足立豊君 次ニ伺ヒタイノハ租稅其
他ノ公課ト云フ方ノ水利組合費ト云フモノ
ハ全額ヲ米作負擔ニスルト云フヤウナ御方
針デアルヤウニ伺ヒマシタガ、此水利組合
費ト云フ、殊ニ土功組合法ニ依リマシテ北
海道ニ於テハ其組合費ノ負擔ト云フモノガ
相當大キクナッテ居ルヤウニ思ッテ居リマ
ス、ソレカラ北海道ノ土功組合ノ問題ノ前
ニ、此問題ニ關聯シマシテ一言申上ゲテ置
イタ方ガ宜イト思フノハ、内地ノ土功組合
ニ當リマスルモノハ耕地整理組合ノ費用デ
ニ付テ同ヒタイノデアリマス、土地價格ノ
決定ハ時價ニ依テオヤリニナル御考デア
ルカ、收益價格ニ依テノ御算定デアリマ
スカ

○政府委員(荷見安君) 水利組合費ノコト
點、ドウ云フ御考ヲ持テ居ラレマスカ
デゴザイマスガ、是ハ水利組合ノ中ニモ普
通水利組合ノ費用ヲ眼中ニ置キマシタノ
デ、詰リ灌溉排水ニ關スル爲ノ水利組合ノ
費用ハ、是ハ大體米作ニ於テ必要ナモノデ

アルカラ、其全額ヲ米作ノ負擔ニシヤウ
スウ云フコトニ致シマシタ譯デゴザイマ
ス、ソレカラ北海道ノ土功組合ノ問題ノ前
ニ、此問題ニ關聯シマシテ一言申上ゲテ置
イタ方ガ宜イト思フノハ、内地ノ土功組合
ニ當リマスルモノハ耕地整理組合ノ費用デ
ニ付キマシテ請願モ出テ居リマスヤ
ウニ承知シテ居リマスガ、其申ス所ニ依リ
マスト、帝國農會ノ調査ハ生産費二十七圓
二十二錢ト云フコトデアルガ、政府ノ御方
針ノ最低價格ト云フモノガ十八圓二十八錢
ト云フコトデハ到底生産費ヲ償フコトガ出
來ナイト云フヤウナ意味ノ請願ト了承シテ
シテ一部灌漑ニ依リ、併ナガラ大體、耕地
マシテ、ソレガ完成シテシマヘバ普通水利
組合ニ引渡ス、或ハ町村ニ引渡スト云フコ
トニナルカラ、水利組合ト云フモノヲ代表
的ノモノトシテ一つコ、デ擧ゲテ置イタラ
宜カラウト云フヤウナ積リテ、水利組合費

ヲ擧ゲテ置キマシタ譯デアリマス、ソレカ
ラ北海道ノ土功組合ノ費用ノ關係ニ付キマ
シテハ、是ハ普通水利組合ガ支辨シテ居リ
マスルト同ジヤウナ性質ノ費用デゴザイマ
スカラ、全額ヲ米作負擔ニ致シタイト斯ウ
云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵足立豊君 次ニ土地資本利子ノ算定
ニ付テ同ヒタイノデアリマス、土地價格ノ
決定ハ時價ニ依テオヤリニナル御考デア
ルカ、收益價格ニ依テノ御算定デアリマ
スカ

方デモアリマスル小作料ト云フモノニ依リ
マシテ、其調査シマス農家ガ耕作シタ土地
ト同ジヤウナ土地ノ、通常ノ小作料ト云フ
モノヲ見マスルナラバ、是ハ各地方共ニ發
見スルニ困難ガゴザイマセヌ、其小作料ヲ
見マシテ、ソレヲ土地資本利子トシテ計算
イタシマスト云フト、結局、其地面ヲ自分
ガ持ツテ居ラナクテ他カラ借りタラバ何程

得ズ止ストシテ除ク外ハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデゴザイマス、ソレカラ、ソレニ其土地ハ普通ノ收穫デアッタガ、附近ノ土地ガ非常ナ不作デアッタト云フヤウナ時デアリマシテモ、一町村内ニ選ブ譯デアリマスカラ、比較的近イ所ノ類地ノ小作料ト云フモノガ發見出來ハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

經費ノ關係モアリマスノデ、生産額八万石ニ付テ一戸、縣外移出額四万石ニ付テ一戸云フヤウ、ナ標準デ、各府縣ノ生産額、移出額ヲ調査イタンマシテ、ソレデ此調査農家ヲ割當テタ譯デアリマス、其割當テマシタ調査農家ヲドウ云フ風ニシテ選定スルカト云フコトニ付キマシテハ、此實行案ノ調查客體ト申シマス三ノ所ニ書キマシタヤウ

拂へバ宜シイカト云フコトニナリマスルカラ、ソコデ類地ノ通常小作料ニ依ッタ方ガ比較的適切デハナイカト云フヤウナ考カラ、類地ノ通常小作料ニ依ルコトニ致シマシタ
○男爵足立豊君 次ニ小作料ノ點ニ付テ伺ヒタインデアリマス、實收小作料ト爲サルト云フコトデアレバ、不作其他ノ場合、小作料ノ減免セラレタ場合、單ニ納入ニ要スル費用ト云フヤウニナルヤウニ考ヘラレマスルス、斯カル場合ハ何年間ノ平均ヲ御採リニナツテ御計算ニナリマスカ

○男爵足立豊君 私ハ自作農ノ場合ヲ、其純益ニ公租公課ヲ加ヘタル所謂公定小作料ニ依ル方ガ宜シヤウニ考ヘテ居リマスガ、當局ノ御考ハ如何デスカ

○政府委員(荷見安君) 私共ノ只今マデノ研究デハ、現在、私共ガ申上げマシタヤウナ方法ノ方ガ宜シクハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、御話ノ點ハ實行ニ際シマスシテハ、十分考ヘテ見タイト思ヒマス

○男爵三須精一君 私モ當局ニ御尋ネ致シマスガ、此生産費ノ調査實行案ノ中ニ、各

ニ、主トシテ自作ヲナス農家、及ビ主トシテ小作ヲナス農家ト云フコトニ致シマシテ、「縣内ノ主要米產地ニ於テ米作ヲ主業トスルコト」、ソレカラ「反當收量ノ中位ナルコト、管内ニ於テ普及シタ品種ヲ耕作スルコト、經營規模及び能力ノ中位ナルコト、其他中庸生產費ヲ得ルニ適當ナル要件ヲ具フルモノ」、斯ウ云フ風ナ條件ヲ知事ノ方ニ申送リマシテ、サウシテ各府縣知事ニ於テ此條件ニ合フヤウナ農家ヲ、一町村内ニ松テ自作小作各一戸ヅツト云フヤウナ割合

○政府委員(荷見安君) 其點ハ私共ノ方ニテ
生産費調査ヲ致シマスル時ニハ、大體普通
ノ詰リ反當收量ノ中等……中位ナルコト、
ト云フコトヲ調査ノ要件ト致シテ居リマス士
ノデ、若シ其地方……其調査イタシマス士
ニ立至ルト、私共ノ方ハ其調査ハ、已ムヲ

地方地方……調査農家戸數一千三十戸ヲ選定スル地方ガ掲ゲラレテアリマスガ、其選定スル方法ハドウ云フ方法デ御選定ニナリマスカ、
○政府委員(荷見安君)　是ハ其調査農家戸數ヲ第一、千三十戸ト決メシタノハ、大體、多ケレバ多イ程宜イノデアリマスガ、

デ、主トシテ其米產地方ノ所ニ付テ選擇ヲシテ貴ヒマシテ、其細カイ狀況ヲ農務局ノ方ニ報告シテ貴ヒマス、コチラデハ其農家ニ嘱託シテ、調査項目ニ付テ記帳ヲシテ、愈、好イト云フコトニナレバ、ソコノ農家ニ嘱託シテ、調査項目ニ付テ記帳ヲシテ、貴フト云フコトニスル積リデゴザイマス

○男爵三須精一君 サウシマスルト其地方

地方ノ縣廳ノ當局ガ選定サレマシタ、ソレノ愈、指定サレタ農家ニ付テノ監督方法ハ、ドウ云フヤウナ方法デヤラレマスカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ知事ノ方ニ

監督ヲ賴ム譯デアリマスガ、只今ハ米穀生産費ノ調査ノ爲ニ要スル經費ヲ追加豫算トシテ提出シテアリマス譯デゴザイマスガ、ソレニ依リマスト約總額十二万圓バカリノ金額ニ依リマシテ、府縣ニ其監督ノ職員ヲ一人ヅツ、ソレカラ多イ地方ニハ……新潟ダケハ六十戸アリマスカラ一人ヲ配當スル豫定ニナッテ居リマスガ、大體一人ヅツノ官吏ヲ派遣シテ置キマシテ、其人ニ主トシテ監督ノ方ニ當テ貰フ、勿論、其外ノ人モ協力シテ、出來ルダケ指導監督ヲシテ貰ハウ、斯ウ云フ風ナ積リニナッテ居リマス

○男爵三須精一君 サウ致シマスルト、今度十二万圓ノ追加豫算デ得タ金ヲ、各地方

地方ノ縣ニ調査員ヲ増シテ、ソレニ一人ガ三十戸當リト云フ見當デ以テ面倒ヲ見ルト

云フコトニナッテ居リマスノデスカ

○政府委員(荷見安君) 左様デゴザイマス

○男爵三須精一君 私ノ質問ハ是デ終リマ

○橋本圭三郎君 チヨット伺ヒマスガ、準據シタ

ト云フコトト依ルト云フコトト、ドウ達ヒマスカ、時價ニ依リ、時價ニ準據ス、依トシテ提出シテアリマス譯デゴザイマスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 言葉ノ都合デ使ヒマシタノデ、別ニ意味ハ違ハヌコト思ヒマス

○子爵片桐貞央君 先程チヨット御伺ヒ漏ラシマシタガ、先程伺タノニ依リマスト、預金部ノ何ハ百三十何圓餘デゴザイマシタカ、其中ニハ今回御買入レニナリマシタ三百萬石ニ對スルソレノ金ノ高ハ這入テ居ルノデスカ、這入テ居ラナイノデスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 米穀需給特別會計ノ本年度末ニ至リマスル迄ノ損失ヲ見込ヲ付ケマシテ見マスルト云フト、米穀法發布以來ノ合計ガ、損失ガ一億五千万圓ニ本年度ノ年度末ニ於テ相成ルヤウナ見込デ居タノハ預金部ニ米穀需給特別會計カル預金ニナッテ居リマスル金額ガ百三十八万四千圓バカリアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、今度買ヒマシタ米ノ分ハ無論此中ニ這入テ居リマセヌ

○政府委員(石黒忠篤君) 先程申上ゲマシタノハ預金部ニ米穀需給特別會計カル預金ニナッテ居リマスル金額ガ百三十八万四千圓バカリアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、今度買ヒマシタ米ノ分ハ無論此中ニ這入テ居リマセヌ

○政府委員(石黒忠篤君) 先程申上ゲマシタノハ預金部ニ米穀需給特別會計カル預金ニナッテ居リマスル金額ガ百三十八万四千圓バカリアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、今度買ヒマシタ米ノ分ハ無論此中ニ這入テ居リマセヌ

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 第一回ノ買入ノ分ハ約三千九百万圓程度ノ米穀證券ガ發行ニナッテ居リマス、第二回ノ分ハマダ先日追加的ニ買入ヲヤリマシテ、受渡シ等ガ確定

イタシテ居リマセヌノデ、的確ニ申上ゲル

譯ニ参リマセヌ

○子爵片桐貞央君 モウ一つ伺テ置キタ云フ字ヲ書クノト、ドウ變リガアリマスカ

イノハ今回八千万圓ヲ特別會計ノ方ニ入レルコトヲ御要求ニナッテ居ルノハ、八千万圓

充スル意味ニナルノデスカ、ドウ云フ意味ニナリマスカ、チヨット参考迄ニ伺テ置キ

○政府委員(石黒忠篤君) 家計費ノ調査ノ實行案ト云フ書類ヲ御廻シニ

六項ニ率勢米價及家計費ヲ基礎トシテ算出方法ヲ規定スルコト、ソレカラモウツハ

ガ、米穀法施行ニ關スル命令ノ要項ト云フ家計費調査實行案ト云フ書類ヲ御廻シニナッテ居リマスルガ、家計費ノ調査ノ實行案

ヲ見テミマスルト、是デハ家計費ノドコヲバ捉ヘテ第五條ノ最高價格ヲ定メルト云フコトニナルノデアリマスカ、其接ギ合セガ

分リマセヌデスガ……

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 御説明申上ゲマスガ、其命令デ以テ定メマスル借

○政府委員(荷見安君) 米穀法發布以來

五年度末迄ノ損失ノ合計ガ一億五千デゴザイマス、其中ニ八千万圓ト云フモノガ含マレテ居ル譯デゴザイマス

○木場貞長君 此家計費ノ調査ノ實行案ト云フコトト依ルト云フモノガ舍マレテ居ル譯デゴザイマス

イカヌデアラウ、サウスルト其米代ニ廻シ
得ルモノハドウ云フモノデアルカト云フコ
トヲ考ヘテ見マスルト、副食物費デアルト
カ、嗜好品デアルトカ、修養娛樂費デアル
トカ、旅行費デアルトカ云フモノノ一部ハ
之ヲ米代ニ廻シテモ宜イデアラウ、サウ云
フ風ナ考カラ、例ヘバ今申上グマシタヤウ
ナ費用ノ五分ト云フモノヲ米代ニ廻スト致
シマスト、前ニ申シマシタ家計費調査ニ依ッ
テ得マシタ米代ニ、ソレ等ノモノノ例ヘバ
五分ト云フ金額ヲ加ヘマシテ、ソレヲ一戸
當リノ消費量デ割ツテ見マスト、現實ノ昨年
拂ヒマシタ米代ヨリハ幾ラカ高イ米代ガ出
ル譯デゴザイマス、ソレヲ以テ先ヅ消費者
ノ堪ヘ得ベキ家計費ト云フヤウナコトニ見
タラ宜カラウ斯ウ云フ風ニ考ヘマシタノ
デ、ソレヲ現在ハ外ニ資料ガゴザイマセヌ
ノデ、大正十五年九月カラ昭和五年八月迄
ニ内閣統計局デ家計費ノ調査ヲ致シマシタ
其モノニ依リマシテ、一例トシテコ、ニ申
上ゲテ見マスト、月收六十圓未満、八十圓
未満、百圓未満ノ各階級ノ副食物費、ソレ
カラ嗜好品費、交際費、修養娛樂費、施行費
等ノ合計額ト云フモノハ六十圓未満ノ家ニ
於キマシテハ十六圓五十六錢、八十圓未満
ノ家ニ於キマシテハ二十一圓八十五錢、百

圓未滿ノ家ニ於キマシテハ二十七圓十八錢ト云フコトニナリマスノデ、例ヘバ其五分シテ見マスルト、六十圓未滿ノ家デハ八十圓未滿デハ一圓九錢、百圓未滿デハ一圓三十六錢ト云フコトニ先ヅ相成ルノデアリマス、ソレデ其金額ヲ六十圓未滿ノ階級ノ一ヶ月ノ米代十二圓三鐵、八十圓未滿ノ一ヶ月ノ米代十二圓八十二錢、百圓未滿ノ一ヶ月ノ米代十三圓四十五錢ト云フモノニ加算シテ見マスト云フト、六十圓未滿ノモノハ十二圓八十六錢ニナリマス、八十圓未滿ノモノハ十三圓九十一錢ニナリマス、百圓未滿ノモノハ十四圓八十一錢ニナルノデゴザイマス、ソレデソレヲ各階級ノ消費スル單位ハソレゾレ二人七分六厘、二人八分八厘、三人ト云フ消費別ニナリマスノデ、一ヶ月當リノ白米消費量ハ、是ハ内閣統計局ノ調査デハゴザイマセヌノデ、假ニ一斗ト云フコトニシマスト云フト、各階級ノ世帶ガ一ヶ月ノ白米消費量ガソレゾレニ斗七升六合、一斗八升八合及三斗ト、斯ウ云フ風ニナル譯デアリマシテ、其一冊ゲマシタ米代ノ五分ノ節約額ヲ外カラ加ヘマシタモノヲ割、テ見マスルト、六十圓未滿

○木場貞長君

ノモノハ四十六圓五十九錢、八十圓未満ノ
モノハ四十八圓三十錢、百圓未満ノモノハ
四十九圓三十七錢、斯ウ云フ計算ニナル、
其計算シマシタモノハ白米ト玄米トノ價格イ
マス、ソレヲ其當時ノ白米ト玄米トノ價格イ
ノ割合デ換算シテ白米ノ價格ヲ出セバ、此
程度ニ割出セルダラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居ルノデアリマス

○木場貞長君

ルト、收入ノ少イ所ノ世帯ハ人數モ少イコ
トニナッテ居ルヤウデゴザイマス、是ハドウ
云フ譯デアルカト云フノデ、色々考ヘテ見
マシタガ、大體收入ノ少イ所デハ家族ガ餘
リ餘計ニ持テナイヤウナ形ニナッテ居ルヤ
ウデアリマス、其爲ニ收入階級ニ從^フテ矢張
リ人數ガ餘計ニナッテ行クヤウニ、統計局ノ
調査デハ出テ居リマス

○木場貞長君 米代ト云フモノハ六十圓ノ暮シヲシテ居ルモノト百圓ノ暮シヲシテ居ル人ニ依ッテ、其家ノ家計ノ如何ニ依ッテ格別ノ影響ヲ受ケルモノデナイヂヤナイデセウカ、一等米ヲ食ベル、三等米ヲ食ベルト云フヤウナ意味ニ於テハ勿論、價格ノ相違ヲ來スコトガアリマスケレドモ、是等ノ點カラ勘定ノ達フ所ガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ分量ニ於テハ六十圓ノ家ニアラウト、八十圓ノ家ニアラウト、百圓ノ家ニアラウト、人間ノ頭數デ食テ行クノデスカラ、今政府委員ノ御説明ニナルヤウナコトハ當ヲ得タモノデゴザイマスカ

ノモノハ四十六圓五十九錢、八十圓未満ノモノハ四十九圓三十七錢、斯ウ云フ計算ニナル、モノハ四十八圓三十錢、百圓未満ノモノハ其計算シマシタモノハ白米ト玄米トノ價格マス、ソレヲ其當時ノ白米ト玄米トノ價格ノ割合デ換算シテ白米ノ價格ヲ出セバ、此程度ニ割出セルグラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○木場貞長君 米代ト云フモノハ六十圓ノ暮シシテ居ルモノト、八十圓ノ暮シヲシテ居ルモノト百圓ノ暮シヲシテ居ル人ニ依ッテ、其家ノ家計ノ如何ニ依ッテ格別ノ影響ヲ受ケルモノデナイデヤナイデセウカ、一等米ヲ食ベル、二等米ヲ食ベルト云フヤウナ意味ニ於テハ勿論、價格ノ相違ヲ來スコトガアリマスケレドモ、是等ノ點カラ勘定ノ違フ所ガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ分量ニ於テハ六十圓ノ家ニアラウト、八十圓ノ家ニアラウト、百圓ノ家ニアラウト、人間ノ頭數デ食、テ行クノデスカラ、今政府委員ノ御説明ニナルヤウナコトハ當ヲ得タモノデゴザイマスカ

○木場貞長君 然ルニ此調査實行案ニ依テ見マスルト、色ニノ制限ガ付イテ居、テ、雇人ノナイ世帯デアルトカ、借家ニ住フトカ、家族數ハ二人乃至七人デアルトカ云フヤウナコトガ色ニ付イテ居ルカラ、是カラ見テミマスルト云フト、收入ノ如何ニ依、テ拂フ所ノ米代ニ左程ノ懸隔ガアルモノデアルカト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、何ハ扱置イテモ米代ダケハ差引イテ是非拂ハナケレバナラヌト云フノデ拂、テ居ルノデハナイデセウカ、家ニ依ッテハ米代ガ大部分ヲナシテ居ル所モアリ、米代ハ何分ノ一ト云フ所モアルノデハナイデセウカ

○政府委員(荷見安君) ソレハ茲ニ掲ゲマ

○政府委員(荷見安君) ソレハ茲

云フ譯デアルカト云フノデ、色ニ考ヘテ見
マシタガ、大體收入ノ少イ所デハ家族ガ餘
リ餘計ニ持テナイヤウナ形ニナッテ居ルヤ
ウデアリマス、其爲ニ收入階級ニ從^フテ矢張
リ人數ガ餘計ニナンテ行クヤウニ、統計局ノ
調査デハ出テ居リマス

○政府委員(荷見安君) ソレハ茲ニ掲ゲマ
シタ調査客體ノ要件ノ如クニ八十圓未滿、
百圓未滿ト云フヤウナ階級ノモノモ参考ノ
爲ニ取テ見タイト云フノデアリマス、結局
二人乃至七人ト云フコトニ致シマシタケレ

テ、一世帯ノ消費単位ハ増加シテ行クヤウ
ナコトニ、只今ノ統計ヲ讀ミマスルト、出テ
居リマスル譯デアリマス、ソレカラ茲ニ舉
ゲマシタ色ニナ條件ハ大層窮屈ノヤウデゴ
ザイマスガ、斯ウ云フ風ニ致シマセヌト、
詰リ調査客體ノ中庸ヲ得ルノニ困難デアラ
ウト云フノデ、大體ハ此前ニ内閣統計局ノ
方デ御研究ニナツタモノヲ材料ニシタノデ
アリマスケレドモ、其外ニ幾分ソレヲ詳細
ニシタ點モゴザイマスガ、ソレハ極メテ僅
カデゴザイマシテ、大體ハ此前、内閣統計
局デ御調査ニナツタ條件ニ一致シテ居ル譯
デアリマス

デモアリマセウケレドモ、能ク考ヘテ見ルト、誠ニ賴リナイヤウナ氣持ガスル、例ヘバ此生産費ノ方デモ勞銀ノ問題ナドデモ或ハ肥料ノ問題ナドデモ、ナカヽ日本ノ此程度ノ家庭ノ狀況カラ見マスルト、帳簿ナドモ能ク記入シテ居ルコトモ望マレヌ、後カラ好イ加減ニ書クノガ日本人ノ流儀デ、西洋人見タヤウニ、斯ウ云フ簿記的ノ數學的ノ頭ハ遺憾ナガラ少イ感ガアリマスカラ、無理ニ迫レバ後カラ好イ加減ニ捨ヘテ、何人ニシヤウカ、幾ラニシヤウカト云フヤウナ位ノコトデ、甚ダ賴リナイガ、殊ニ此生産費ノ方デ申スト、買上ニ關係ヲ及ボス、農家ノ利益カラ言フト、生産費ガ多イノガ宜イト云フ譯デモアルマイガ、ドウシテモ其見積リガ多クナツテ來ル、又肥料ナドデモ實際使ツタノカ、ソレ等モ十分ノ取調べガ付クモノデアルカドウカ、肥料ノ又買入レ方ノ方法ニ依ツテモ、其値段ガ非常ナ違ヒガ出来ル、日本ノ今ノ農家デ多クヤツテ居ルヤウナ拂ハズニ後廻シトシテ、肥料カラ先キニ買ヘバ値段モ高イ、而モ其肥料代ハ出來上リニナツテモ拂ハズニ借金ニナツテ段々農家ガ苦ンデ居ル事實ノヤウニ聞イテ居リマスガ、果シテサウ云フコトデアルト、其利

ルノデ、ソコラノ正確ナ調査ガ餘程困難ト思ヒマスガ、家計費ノ方カラ見マシテモ生産費ノ方カラ申シマシテモ、今一層是ハ試験デアルト云フヤウナ意味デアレバ、追究モ致サヌケレドモ、十分私ハ研究ノ餘地ガアルノデヤナイカ、御試ミニナックコトデハ種々改正スルト云フコトニ御注意ヲ要スルモノデハナイカ、斯様ニモ思フノデアリマスガ、ドンナモノデゴザイマス。

○政府委員(荷見安君) 此家計費ノ方ノ分デゴザイマスガ、其調査ノ方法トシテ調査世帯選定條件ハ國勢調査ノ時デゴザイマセヌノデ、特ニ内閣統計局ノ方デ御研究ニナリマシテ、家計費調査ノ爲ニ専問ニ豫算ヲ御取リニナッテ、オヤリニナッタノニ依リマシタノデアリマス、ソレカラ只今御話ノ生産費ノ方デモ、例ヘバ記帳ガ困難デハナカラウカト云フ御話デアリマスガ、御話ノヤウナ點ハ餘程アリマスノデ、出來ルダケ記帳ナドモ粗末デナク出來ルヤウナ所、例ヘバ農學校ノ卒業生ガ家ノ中ニ居シテ親父ノ仕事ヲ助ケルト云フモノナドフ、出來レバサウ云フモノモ選ビタイノデゴザイマスシ、其外ニ農會デアリマストカ、サウ云フ風ナ方面ノ指導モアリマセウシ、大體ハコ

テ間違ヒナクサセヤウト、斯ウ云フ積リデ
居ルノデアリマス、ソレカラ肥料ノ問題ナ
ドモゴザイマスガ、是ハ大體調査ノ農家ヲ
選擇イタシマス時ニ、經営能力ト云フモノ
モ、中庸ノ農家アルコト、ソレカラ經營
ノ農家モ中等デアルコト、主トシテ中庸ノ
生産費ヲ得ルニ適當ナ條件デ、餘リマヅイ
經營ヲ致シマシタリ、餘リニ上手過ギル經
營ヤ方法ヲ講ジマシタヤウナモノ、例ヘバ
午前中モ御話ガ出マシタ多收穫ノ競技デ一
等ニモナルモノヲ持ッテ來テ調査イタシマ
シタノデハ、其中庸生産費ヲ取ル目的ニ達
シマセヌ、サウ云フモノヲ除ク、又マヅイ
モノヲ除イテ、大體中等ノモノノ生産費ヲ
得ルコトニ努メヤウト云フ考ヲ持ッテ居リ
マス、ソレデアリマスカラ、曩ニ申シマシ
タヤウニ、各地方ニ委任シテ、知事ニ豫選
ヲ致サセマシテ、其結果ノ報告ニ依ッテ、其
村ノ事情デアルトカ、其農家ノ經營ノ能力
ト云フコト、家族ノ狀態ト云フコトヲ、一
ニ當ツテ見マシテ、サウンテ地方デモ中央
デモ適當ト認メタ所デ、ソレヲ選擇シテ記
帳調査ニ當ラシタイ、斯ウ云フ風ニ極ク丁
寧ニヤツテ貰ヒタイ積リデアリマス、尤モ御
話ノヤウニ此試ミハ最初ノコトデゴザイマ

シテ、今年昭和五年產米デハ、前回ニ申上
ゲマシタヤウニ、二十六戸バカリ取りマシ
テ、試ミニ記帳調査ヲ致シマシタダケデア
リマス、今度ノヤウナ千何戸ト云フ大多數
ノ農家ヲ取ッテヤリマスト、色ミナ經驗モ得
テ來ルト思ヒマス、其經驗ノ結果ニ依ッテ
ハ、マヅイ所ハ改メタイ、斯ウ云フ風ニ考
ヘテ居リマス

○木場貞長君 今御尋不致シタ點ハ寧ロ政
府ニ御注意ヲ請フ意味ニ於テ御尋ネシタノ
デゴザイマスガ、十分正シイ所ニ達スルヤ
ウニ御努力下サレバ此上御尋ネスル必要ハ
ナイノデアリマス、併ナガラ大體ニ於キマ
シテ私方御尋不致シタイノハ、抑、米穀法
ト云フモノガ果シテ一番ノ名案ガ根本的ニ
モウ少シ詳シク、細カク考ヘタラモウ少シ
名案ガアルノデハナイカ、毎年是ハ缺損ヲ
出シテ居ル、殊ニ先日モ大臣カラ御話ガゴ
ザイマシタ通リニ、此特別會計ハ不思議
ナ特別會計デアッテ、借入金ヲ以テ經營シテ
居ルカラ、一億五千万ノ損失ガ立タト云フ
ケレドモ、其利息ガ其中ニ澤山入シテ居ルノ
程ノ事デナイト云フヤウナ御話モアリマシ
タガ、併シは假令一般會計カラ資金ヲ貰
テ御經營ニナツテモ、特別會計ノ帳簿上デハ

利息ヲ要セヌト云フコトニナルニ相違アリ
マセヌケレドモ、國民ノ負擔ノ上カラ言フ
ト、矢張リ三億五千万ノ金ト云フモノハ一
般會計ニ遊ンデ居ル金ガアルノデハナク
テ、新ニ公債ヲ募ルカ、又ハ餘裕ガアルナ
ラバ、公債ヲ償還シテ利子トナリ得ベキ金
ヲ以テ此方ニ廻ハスコトニナルカ、矢張リ
同ジコトデ、國民ノ懷ロ合ヒカラ言ヘバ一
億五千万ノ損失ハ一億五千万ノ損失デハア
ルマイカ、所ガ表面カラ言フト特別會計ナ
ルガ故ニ低利資金ノ融通ナドト云フ方法モ
時折リハ講ゼラレルコトガゴザイマセウケ
レドモ、一般會計ノ方カラ貰タ資金デアル
トスレバ、一般會計ノ方デハ五分利公債ト
カ何トカデ参リマスカラ、却テ負擔ハ大キ
クナルカモ知レナイケレドモ、却テ輕クハ
ナラヌ結果デヤナイカ、斯様ニ思ヒマスル
ガ、何トカ容易ナラヌ負擔ニナル、此事様
ニ澤山ナ豐作ニナツタト云フノデ、却テソ
レガ爲ニ農家モ苦ミ、購買力ガ減タ結果ト
シテ、商工ノ方面モ苦シonde居ルト云フヤ
ウナコトデ、今トナツテ却テ減作ラスル御
希望ガアルデハナイカト言フテモ仕方ガナ
ニ出テ意見ヲ述ベルト云フ點ニ於テハ、誠
ニ貴重ナ意見ガアルノデスガ、能ク全般ノ
コトヲ考ヘテ、何カ責任ヲ有シテ方法ヲ考ヘ
出スト云フコトニハ諸問機關ト云フモノハ
餘リ結構ナモノデナイ、而モ此米穀ノ問題
ナラバ、之ニ關係ノアル人ミト云フ者ハ多
クハ農家ノ方ニ關係ガアル人デアリマスカ
ラ、ソコノ空氣ト云フモノモ鬼ニ角其時ノ
農家ヲ救濟スルト云フ方ニ人氣ガ集テ來
ル、農家ニ偏シテ考ヲ廻ラスト云フコトニ
リマスガ、中ニ數名ノ學者ナドガ加ハリマ
シテモ、其空氣ノ外ニ出テ獨特ノ意見ヲ述

ノデスカラ、決シテ損ハ行カナイ筈ナノデ
アルカラ、ソレハ損ガ行クト云フノハ、ソ
ニ質ガ段ミ惡クナルトカ、又種々ナ事情
マセウガ併シ今日モウ少シ又根本カラ御考
ヘニナツテ、流儀ヲ變ヘテ御考ヘニナツテ見
タナラバ、損失ヲ少クスル方法ハアルノデ
ハナイカ、現ニ日本政府ノ御方針トシマシ
テモ、數年前ハ食糧品問題トシテ、不足シ
テ居ル、盛シニ開墾ヲ獎勵スルトカ、或ハ
肥料ノ用ヒ方ヲ獎勵スルトカシテ、作高ノ
殖エルコトヲ御獎勵ニナツタ、ソレガ今漸ク
目的ヲ達シテ天候ニモ惠マレタ共ニ非常
ニ澤山ナ豐作ニナツタト云フノデ、却テソ
レガ爲ニ農家モ苦ミ、購買力ガ減タ結果ト
シテ、商工ノ方面モ苦シonde居ルト云フヤ
ウナコトデ、今トナツテ却テ減作ラスル御
希望ガアルデハナイカト言フテモ仕方ガナ
ニ出テ意見ヲ述ベルト云フ點ニ於テハ、誠
ニ貴重ナ意見ガアルノデスガ、能ク全般ノ
コトヲ考ヘテ、何カ責任ヲ有シテ方法ヲ考ヘ
出スト云フコトニハ諸問機關ト云フモノハ
餘リ結構ナモノデナイ、而モ此米穀ノ問題
ナラバ、之ニ關係ノアル人ミト云フ者ハ多
クハ農家ノ方ニ關係ガアル人デアリマスカ
ラ、ソコノ空氣ト云フモノモ鬼ニ角其時ノ
農家ヲ救濟スルト云フ方ニ人氣ガ集テ來
ル、農家ニ偏シテ考ヲ廻ラスト云フコトニ
リマスガ、中ニ數名ノ學者ナドガ加ハリマ
シテモ、其空氣ノ外ニ出テ獨特ノ意見ヲ述

ベルト云フコトハ事情ガ許サヌノデ、矢張リ大勢ハソレニ制セラレテ學者ナドモ多ク考ヘテ居ナイ、餘リ根本カラ議論ヲ唱ヘテモソレハ到底顧ラレルモノデナイカラ、僅學者ハ多ク農學者ガ居ル譯デスカラ、決シテ本當ノ根本的ノ研究ト云フモノハムツカシイカト思フノデアリマスガ、モ少シ此邊ニ付テハ考究ノ餘地ガアリハシナイカ、或ハ其方法ニ付テハ十分ニ金ヲ出シテ懸賞ノ方法ヲ講ズルトカ、或ハ懸賞ノ方法ヲ講ズルノモ一般的ニ募フテハ值打ガナイトスレバ、相應ニ信用ガアル人ダケニ委託シテ懸賞的ニヤッテ、當選シタ者ニハ五万圓デモ十分圓デモ出シテ宜イト云フ勢ヒデヤレバ、所謂權威アル人達モ其コトニ骨ヲ折ルト云フコトモアリマセウシ、米穀法ガ唯一ノ方法デハ決シテナイト思フ、我共ノチヨット考ヘタ所デ、或ハ是ハ值打ガナイカ知ラヌガ……茲デ申上ゲテモ仕様ガナイガ、二ツモ三ツモ違フタ方法ガ考ヘラレヌデモナイ、蓋シ専門ノ方ガ御考ヘニナフタナラバ、モ少シ國民ニ累ヲ及ボサザル所ノ立派ナ方法ガアリサウナモノト思ヒマスガ、要シマスルニ政府ニ於キマシテハ今日ノ場合、勿論是デ御實行ナサルコトハ至當ノコトト思フ

シ、我ニモ別ニ修正トカ何トカ云フ考ハ持テ居リマセヌガ、將來ニ於テ尙ホ一層根本的ニ御研究ニナル御意向ナドハナインデアリマスカ、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス○國務大臣(町田忠治君) 只今本場サンノ大體米穀法ノコトニ付キマス御意見ハ至極ク御尤モナ御尋ト思ヒマス、私モ三四年前ニ一度農林省ニ居リ、又此度農林行政ニ携ハッテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ此問題ハ常ニ念ヲ離ルルコトノナイヤウニ想ヲ費ヤシテ居ルノデアリマス、米穀調査會モ相對シマシテハ、今ヤッテ居リマス經濟的施設先般來各位カラ御話ノアリマシタ朝鮮米ニクトモ三四四年ノ後ニハ出來マス、ソレカラハテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ此問題ハ常ニ念ヲ離ルルコトノナイヤウニ想ヲ費ヤシテ居ルノデアリマス、米穀調査會モ相對シマシテハ、今ヤッテ居リマス經濟的施設ノ五箇年バカリ掛フテ僅カバカリノ倉庫ヲ造ルト云フコトデ果シテ行ケルヤ否ヤト云當長イ間研究サレマシタガ、斯様ナ案ヲ除イテ徹底的ニ米價安定、消費者ノ方面ト兩方面カラ見マシテ、理論トシテハ專賣案ガ相當ニアリマシタ、ドウモ研究ノ末委員ノ多數ハ專賣案ハ到底實行ガ出來ヌト云フコトニナリマシテ、價格ノ公定案ト云フヤウナモノモ出マシタノデアリマスガ、結局ハ途ガ茲ニ開ケ、一ツハ外國ニ向テ輸出スルト云フ新シイ試ミト、或ハ工業方面ニ向テテ、外米ハ政府ノ手ニ統制スルト云フ從來ノモノモ出マシタノデアリマスガ、結果ハ途ガ茲ニ開ケ、一ツハ外國ニ向テ輸出スルト云フ新シイ試ミト、或ハ工業方面ニ向テ之ヲ使フト云フ研究ヲモ進メマス、同時ニ云トアリマシテ、暹羅トノ條約ガ内地法デク外米管理……此外米管理ノ一ノ方法トシテ、外米ハ政府ノ手ニ統制スルト云フ從來私トシテハ最モ重キヲ置イテ居リマスルノ途ガ茲ニ開ケ、一ツハ外國ニ向テ輸出スルハ、政府ガ米ヲ買テ國立倉庫ニ之ヲ入レル、國立倉庫ハ初メ百万石バカリ入レル倉庫ガアレバ宜シト云フ當初ノ計畫デアッタノデアリマスガ、今八十万石入ル倉庫ヲ大分大キナ金ヲ出シテヤッテ居リマス、所ガ

シテ居ルコトガ米價ヲ相當維持スルト云フシテ居リマシテ、暹羅トノ條約ガ内地法デニ無カタ所ノ方法デアリマス、申ス迄モナク外米管理ノコトニ付キマシテハ勅令ニ云テ居リマス、更ニ進ミツツアリマス、ソレニ依シテ朝鮮米ニ對スル相當ナ考ヲ改メテ出サナケレバナラヌト思ヒマス、其二ツノ途ガ茲ニ開ケ、一ツハ外國ニ向テ輸出スルニ依シテ此價格ヲ維持スルト云フ空氣ヲ出来ルナラバ造テ行キタイ、是ハ去年ノ試ミニ依リマシテ相當各地方ニ此農家自カラノ責任ニ於テ價格ヲ維持シナケレバ、政府獨リノ力デハ山ノ如ク米ヲ積ンデ居ルコトガ面白クナイト云フ空氣ガ餘程出來テ來タ、出來ルナラバ農家自體ニ産業組合法ニ基ク産業組合、信用組合等ヲ利用シ竝ニ政府ノ低利資金ニ依リマシテ農家ガ幾分デモ貯藏シテ居ルコトガ米價ヲ相當維持スルト云フ

マシテ……外國米ハ日本國內法デ日本輸入米ノ統制ガ出來ルト云フコトノ先ヅツノ意味ガ今デハ先刻御話シタ三百七八十萬石、四百万石モ政府ガ有ツテ居ル、民間倉庫ニ六百万石入レサセル、民間農業倉庫等ハマセヌデシタ、如何ニ内地米ヲ統制シヤウト致シマシテモ、無制限ニ運雜ノ國カラ這入ツテ來ルト云フ關係ガ誠ニ因リマシタ、少ク御尤モナ御尋ト思ヒマス、私モ三四年前ニ一度農林省ニ居リ、又此度農林行政ニ携ハッテ居ルノデアリマスガ、如何ニモ此問題ハ常ニ念ヲ離ルルコトノナイヤウニ想ヲ費ヤシテ居ルノデアリマス、米穀調査會モ相對シマシテハ、今ヤッテ居リマス經濟的施設ノ五箇年バカリ掛フテ僅カバカリノ倉庫ヲ造ルト云フコトデ果シテ行ケルヤ否ヤト云當長イ間研究サレマシタガ、斯様ナ案ヲ除イテ徹底的ニ米價安定、消費者ノ方面ト兩方面カラ見マシテ、理論トシテハ專賣案ガ相當ニアリマシタ、ドウモ研究ノ末委員ノ多數ハ專賣案ハ到底實行ガ出來ヌト云フコトニナリマシテ、價格ノ公定案ト云フヤウナモノモ出マシタノデアリマスガ、結果ハ途ガ茲ニ開ケ、一ツハ外國ニ向テ輸出スルト云フ新シイ試ミト、或ハ工業方面ニ向テテ、外米ハ政府ノ手ニ統制スルト云フ從來私トシテハ最モ重キヲ置イテ居リマスルノ途ガ茲ニ開ケ、一ツハ外國ニ向テ輸出スルハ、政府ガ米ヲ買テ國立倉庫ニ之ヲ入レル、國立倉庫ハ初メ百万石バカリ入レル倉庫ガアレバ宜シト云フ當初ノ計畫デアッタノデアリマスガ、今八十万石入ル倉庫ヲ大分大キナ金ヲ出シテヤッテ居リマス、所ガ

ヲ出シテモ宜シイト云フ位マデ考ヘテ居リ
シテハ、此米穀法ガ國民ノ今ノヤウナ自覺
ト政府ガ其自覺ヲ促ス、且ツ農家ヲシテ自
カラ貯藏セシムルコトノ便宜獎勵ヲ圖ル施
設ニ依ッテ、出來ルナラバ此米穀法ハ結局法
律トシテハ存在シテ居ルガ、之ヲ使フコト
ノ必要ガナイ、即チ告朔ノ餉羊ニ此法律ヲ
シテ見タイト云フ理想ヲ持ッテ居ルト私ハ
申シタノデアリマスガ、今デモ其考ヲ持ッテ
居ルノデアリマス、御尋ニ對シテ當ルカ當
ラヌカ知レマセヌガ、此機會ニ眞ニ私ノ考
ヘテ居ル一端ヲ申上ゲテ置キマス

シムト云フコトハ言フマデモナイ、而モ今
日ハ色ニナ世界的不景氣トカ、或ハ生絲ガ賣
結果不況ヲ來シテ居ルトカ、或ハ緊縮ノ
レナイトカ、種々ノモノガ綜合シテ一時ニ
來テ居ルカラ、前ノ高カッタ時ニ較ベルト半
分モナイト云フノデ非常ニ苦シニ居ルト云
フコトハ、是ハマア實際ノ事實デアリマセ
ウガ、而モ此稅トカ其他決ッタ金ト云フモノ
ハ、米ガ出來ヤウガ出來マイガ、廉カラウ
ガ、高カラウガ是非調達シナケレバナラヌ
コトニナリマスカラ、益ソコニ農家ノ窮迫
ト云フコトガ現ハレテ來ルノデアラウト思
フノデアリマスガ、併シ米ト云フモノハ少
シ多過キレバ廉クナル、少シ不足スレバ高
クナル、國民ノ主要食物デアル結果、又ソ
レハ必要以上ニハ消費スルコトガ出來ヌカ
ラ、米ノ豐凶ニ依ツテ僅カナ違ヒガ出來テモ
米ノ價ニハ大ナル騰落ガアル、斯ウ云フモ
ノデアラウト思フノデアリマス、從ツテ今ノ
米穀法ハ之ニ應ズルニハ不十分デアリハセ
ヌカ、今大臣モ御話ニナル通りニ外國ニ輸
出スルト云フ方法モアリマス、豐作ノ場合
ニハ外國ニ輸出スルト云フ方法ガ役立ツケ
レドモ、少し不足スレバ輸出スルドコロデ
ハナイ、輸入シナケレバナラヌ、ソレデ偶ニ

外國ニ開いた市場モ始終間歇的ニナツテ、又ソレハ失^トテシマフ、他日豐作ノ結果輸出シヤウト云フ時ニハ新タニ市場ヲ開カナケレバナラヌト云フヤウナ面倒ナコトモアルヤウニ思ハレマス、誠ニ素人デ餘計ナコトヲ申上ゲルヤウデスケレドモ、斯ウ云フ方面ノコトモ色ミ考ヘテ見マスルト、マダ十分ドウモ御研究ガ積ンデアルトハ思ヘナイ、殊ニ兎角政治ハ後ヲ逐テ行クト申スヤウニ、頻リニ増額ヲ御圖リニナツタ結果、今日ハ却^ツテソレニ苦シ^ムシ^ムニ居ラレル、ソレダカラト云^ツテ増額シテハナラヌカラト云^ツテ折角開イタ土地ヲ荒無地ニスル、肥料ヲ用ヒルノモ廢メルト云フヤウナコトガ藝デモナシ、……ソレダカラ誠ニ痛シ痒シノ所ニ御出デニナルノデアラウト思フノデアリマス、從^フテ私ハモウ少シ根本的ニ……立派ナ方ヲ御配下ニ持^ツテ居ラ^ムシャルノデハアルケレドモ、モウ少シ意ヲ入レテ、力ガアッテ其暇ガアル人ニ十分ナ研究ヲサシテ、サウシテ農林省ノ方デ其取捨宜シキヲ制シテ行カレルヤウニアリタイト思ヒマスルノデ、モウ少シ根本的研究ヲ進メラレルノ御意圓ナナイカト云フコトヲ伺ヒマシタガ、之ニアリマシタ、併シ是ハ此場合同意ダトカ、

モ知レマセヌカラ、強ヒテ御答辯願ハナタ
トモ宜シウゴザイマスケレドモ、幸ヒニ御
参考ノ一ツニナレバ仕合セデゴザイマス
○國務大臣(町田忠治君) 御意見竝ニ御尋
ハ大體ニ於テ米穀法ノ前途竝ニ日本ノ人口
食糧問題ノ極メテ緊要ナ所ニ當テ居ルト
思ヒマス、此席デ餘計ナコトヲ申シテハ如
何カト思ヒマスカラ、大體略シマスガ、口
今斯ウ云フ感ジヲ私ハ持テ居ルノデアリ
マス、昨年ノヤウナ大豐作ノ爲ニ米價ガ非
常ニ下落シタ爲ニ、帝國農會ト云、テ宜シウ
ゴザイマセウカ、農業家ノ方面ニハモウ政
府ガ相當大キナ金ヲ年々出しシテ居ル開墾タ
ドハ暫ク廢シテ吳レト云フ事件ガアリマシ
タ、申スマデモナク開墾ニシテ今日既ニ年
年御協賛ヲ得テ居ル金ハ年々千万圓デアリ
マス、農林省ノ五千万圓バカリノ豫算ノ中
ニ開墾ノ助成ノ金ト用排水ニ對スル助成ノ
金ガ餘程大キイ私ナドモ、用排水ノ主
ガ……、生産費ヲ増サヌヤウニシテ收穫ヲ
増ス點カラ申シマスレバ、米ノ生産費ヲ
クシテ增收ヲ圖ルノハ差當リハ開墾ヨリ田
或ハ千万圓位ヅツ要ルノデアリマス、併
排水ノ改良ガ宜イト思フノデアリマス、併
シ金ヲ食フコトハ年々少クトモ六七百万圓

ヲ暫ク見合スト云フ議論ガ農家ノ一部カラ起キテ、相當世ノ中ニモ其考ガアリマスガ、是ガモウニ三年今日ノ状態ガ續キマシテ、朝鮮臺灣並ニ内地ニ於ケル平年作ガ昨年ノヤウナコトガアリマシテ、年々増シテ居ル人口ノ増加ニ伴フテ餘リアルト云フ状態ニナリマスルト、一時政府ノ施設ニ於テモ相當考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、併シ昨年ヲ除キマシタ以外ハ相當外國米ガ這入ラナケレバナラヌト云フコトト、……何デモ調査ニ依リマスト開墾ニ依フテ食糧ノ増加シタ割合ヲ割殖エタストルト、此三十年間ノ間ニ、品種ノ改良其他科學的應用若クハ用排水ノ灌漑其他ノコトニ依フテ改良ニ依フテ增收ヲ圖ラレ、又段々都會ガ擴ガテ新シイ家ガ出來タリ何カスル、十年間ノ間ニ、品種ノ改良其他科學的應用若クハ用排水ノ灌漑其他ノコトニ依フテ改良ニ依フテ增收ヲ圖ラモノガ、一一對スル三位ノ收穫ガ増スコトニ相成フテ居リマスルカラ、此邊モ考慮ヲ致シテ居リマス、併シ朝鮮ハ御承知ノ通り内地ニ於キマシテハ大體不作ナ時ト、豐作ナ時ト、平年作ヲ中心トシテ、不作ノ時ニハ一割位減ルト云フコトガ大體ノ概算デアリマス、豐作ト致シマシテモ一割位デアリマス、朝鮮ノ方ニ見マスト、又天候ニ支配サル、分量ガ多イト見エマシテ、平年作ニ對シテ上ノ方ニ二割植エタリ、下ノ方ニ一割減タリスル、其程度ハ内地ト達ヒマスカラ、コンナコトモ考

ヘテ居リマシテ、昨年ノ如キ豐作ハ今後人口ノ増加ニ伴フテ平年作トシテ需給關係ガ如何ニモ昨年一年ノ豐作ニ依フテ何等カ苦境ニ立ツテ居ルト云フコトヲ御諒解願ヒタイト思ヒマス

○橋本圭三郎君 チヨット伺フテ置キマスガ、一方ニ於テハ增收ヲ圖ラレ、又段々都會ガ擴ガテ新シイ家ガ出來タリ何カスル、是ハマア都會ノ方ガ主モデアリマスガ、何カ統計表ナドニモ書イテアタカト思フノデアリマスガ、チヨット今覺エテ居リマセヌガ、ドレ位減ル方ノ……殖エル方デナク、減ル方ハドレ位デアリマスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 今チヨット數字ヲ持フテ居リマセヌデスガ、調べタモノガゴザイマスカラ御手許ニ差上げマス、潰シ地ノ一番大キイノガ鐵道ナドガ多イヤウニ記憶イタシテ居リマス

十六帝國議會ノ詰リ委員會ニ於テ希望條件ガ付イテ居フテ、其時ノ七千万圓ト云フモノハ運用其他宜シキヲ得ナイカラ、今後尙ホ二三年ノ間ニ於テ詰リ其損失ヲ生ズルト云フコトハ、本法ノ運用宜シキヲ得ナイト云フコトハ、ソレニ付テ此八千万圓ノ損失ハ、如何ナル原因ニ依フテ損失ヲ生ジテ居ルノカ、其原因ヲ伺ヒタイ、尙ホソレヲ數字的ニ、所謂評價誤リトカ色ニノ損ノ原因ガ御有リニナルダラウ、是等ノ數字的ノ事柄、其邊ニ付テ御分リニナシテ居ルナラバ御知セラル、ノデアリマスガ、仍テ隨分早くカラ買上ノ要求ガアツタノデアリマスガ、農林大臣ハ私共部下ノ者カラ見マシテモ、モウ少し早ク御出勤ニナシテヤドウカト云フコトヲ屢々申上げタノデアリマスガ、非常ニ時機ヲ慎重ニ御考ヘニナリマシテ、二百万石及百万石買入ヲ實行サレタノデアリマス、此點ニ付キマシテハ前回ニ御協賛ヲ得マシタスガ、此御趣旨ニハ決シテ反シテ居ラヌコトニ考ヘテ居リマス、而シテ尙ホ本年度末ニ於キマシテ、米穀法發布以來ノ損失ガ一億五千万圓ニ相成ル見込デアル、然ラバ其後八千万圓バカリノ損失ガ四年度及五年度ニ於テ增加シタコトニ相成ルノデアリマスガ、其内容ニ付テト云フ御尋ネデアリマ

○子爵片桐貞央君 私ハ先程米穀需要調節特別會計ノ時ニチヨット伺フテ置キマシタ譯デアリマス、前回ニ御協賛ヲ得マシタ七年、今回八千万圓ノ……填補ノ爲ニ八千万圓ヲ御要求ニナシテ居リマスガ、是等ハ五

ス、是ハ或程度以上參リマスルト云フト、海外賣却等ニ付キマシテハ、少シク今後ノ賣却等ニモ關係ノアル事デアリマスルカラ申兼ル點モゴザイマスガ、大體ノ數字ヲ申上ゲテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、四年後ニ於キマシテハ損失ノ合計ガ二千八百九十八万四千圓ト云フ程度ニナッテ居リマス、其内容ハ米穀ノ賣却損ガ百九十万七千圓、ソレカラ主要米穀ノ評價損ガ千四百七十八万七千圓、ソレカラ事業費ト致シマシテ損ガ三百九十三万四千圓、斯ウ云フコトニ相成テ居ル、借入金ノ利子トシテノ損失ガ八百三十五万七千圓、此計ガ先程申上ゲマシタヤウニ二千八百九十八万四千圓ト云フコトニ相成ル譯デアリマス、五年度ノ損失ノ年度末ノ推算ガドノ位ニナルカト云フ見込ハ、合計ニ於キマシテ四千六百四十四万七千圓、其内譯ヲ申シマスト、米穀ノ賣却損ガ千四百七十五万圓、所有米穀ノ評價損ガ千五百五十万圓、事業費トシテ使ヒマシタ損失ガ三百四十八万五千圓、委託ノ、海外賣却ノ委托ノ手數料其他ノ賣却諸掛……是ハ海外賣却バカリデハゴザイマセヌガ、二百十三万四千圓、借入金ノ利子ガ千飛ビノ五十七万八千圓ト云フコトニ相成リマシテ、合計ガ約四千六百万圓ト

云フコトニ相成ル譯デアリマス、是ハ見位ノコトハアラウカト云フ見當ガツクノアリマス、ソレデ此兩者ノ、兩年度ノ損失ノ合計ガ約七千五百四十數万圓ニ相成ル譯デアリマスガ、然ラバ八千万圓ニ五百万圓バカリ足ラヌコトニナルノデアリマス、然ルニ昭和三年度末ノ損失ガ約七千万圓ト云フコトヲ見込ミマシテ、前回ノ限度擴張ノ御承認ヲ仰イダ譯デアリマス、ソレガ七千五百萬圓程デアッタノデアリマス、ソレデ此七千五百萬圓ト、今度ノ七千五百萬圓トヲ合計ヲ致シマスルト、茲ニ五年度末ノ米穀法發布以來ノ損失ノ合計ガ一億五千万圓ト云フ見當ニ相成ル譯デアリマス、此兩年度ニ於キマシテ、只今申シマシタヤウナ損失ヲ見マシタ云フコトノ原因ハ、大體ニ於テ所有米穀ノ數量ガ非常ニ餘計デアッタト云フコトト、其中カラ賣却ヲ致シマスルモノ及ビソレヲ評價ヲ致シマスルニ當リマシテ、米價ガ低イノデ、殊ニ昭和五年度ニ於キマシテハ、米價ガ著シク低クアッタ云フコトノ爲ニ、賣却及ビ評價損ガ非常ニ餘計ニナッタノデアリマス、即チ米價ノ低イコトト米ノ數量ノ多イコト、此點ニ於キマシテ非非常ニ大キク相成、タ譯デアリマス、尙ホ

云フコトニ相成ル譯デアリマス、是ハ見位ノコトハアラウカト云フ見當ガツクノアリマス、ソレデ此兩者ノ、兩年度ノ損失ノ合計ガ約七千五百四十數万圓ニ相成ル譯デアリマスガ、然ラバ八千万圓ニ五百万圓バカリ足ラヌコトニナルノデアリマス、然ルニ昭和三年度末ノ損失ガ約七千万圓ト云フコトヲ見込ミマシテ、前回ノ限度擴張ノ御承認ヲ仰イダ譯デアリマス、ソレガ七千五百萬圓程デアッタノデアリマス、ソレデ此七千五百萬圓ト、今度ノ七千五百萬圓トヲ合計ヲ致シマスルト、茲ニ五年度末ノ米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトニ基キマシテ、米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトノ、其見積ノ内容ヲ申上ゲタノデアリマス、御手許ニ差上ゲテ居リマスル米穀需給調節會計、昭和五年度十二月末ノ推算ガドノ位ニナルカト云フ見込ハ、合計ニ於キマシテ四千六百四十四万七千圓、其内譯ヲ申シマスト、米穀ノ賣却損失ヲ見マシタ云フコトノ原因ハ、大體ニ於テ所有米穀ノ數量ガ非常ニ餘計デアッタト云フコトト、其中カラ賣却ヲ致シマスルモノ及ビソレヲ評價ヲ致シマスルニ當リマシテ、米價ガ低イノデ、殊ニ昭和五年度ニ於キマシテハ、米價ガ著シク低クアッタ云フコトノ爲ニ、賣却及ビ評價損ガ非常ニ餘計ニナッタノデアリマス、即チ米價ノ低イコトト米ノ數量ノ多イコト、此點ニ於キマシテ非非常ニ大キク相成、タ譯デアリマス、尙ホ

云フコトニ相成ル譯デアリマス、是ハ見位ノコトハアラウカト云フ見當ガツクノアリマス、ソレデ此兩者ノ、兩年度ノ損失ノ合計ガ約七千五百四十數万圓ニ相成ル譯デアリマスガ、然ラバ八千万圓ニ五百万圓バカリ足ラヌコトニナルノデアリマス、然ルニ昭和三年度末ノ損失ガ約七千万圓ト云フコトヲ見込ミマシテ、前回ノ限度擴張ノ御承認ヲ仰イダ譯デアリマス、ソレガ七千五百萬圓程デアッタノデアリマス、ソレデ此七千五百萬圓ト、今度ノ七千五百萬圓トヲ合計ヲ致シマスルト、茲ニ五年度末ノ米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトニ基キマシテ、米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトノ、其見積ノ内容ヲ申上ゲタノデアリマス、御手許ニ差上ゲテ居リマスル米穀需給調節會計、昭和五年度十二月末ノ推算ガドノ位ニナルカト云フ見込ハ、合計ニ於キマシテ四千六百四十四万七千圓、其内譯ヲ申シマスト、米穀ノ賣却損失ヲ見マシタ云フコトノ原因ハ、大體ニ於テ所有米穀ノ數量ガ非常ニ餘計デアッタト云フコトト、其中カラ賣却ヲ致シマスルモノ及ビソレヲ評價ヲ致シマスルニ當リマシテ、米價ガ低イノデ、殊ニ昭和五年度ニ於キマシテハ、米價ガ著シク低クアッタ云フコトノ爲ニ、賣却及ビ評價損ガ非常ニ餘計ニナッタノデアリマス、即チ米價ノ低イコトト米ノ數量ノ多イコト、此點ニ於キマシテ非非常ニ大キク相成、タ譯デアリマス、尙ホ

云フコトニ相成ル譯デアリマス、是ハ見位ノコトハアラウカト云フ見當ガツクノアリマス、ソレデ此兩者ノ、兩年度ノ損失ノ合計ガ約七千五百四十數万圓ニ相成ル譯デアリマスガ、然ラバ八千万圓ニ五百万圓バカリ足ラヌコトニナルノデアリマス、然ルニ昭和三年度末ノ損失ガ約七千万圓ト云フコトヲ見込ミマシテ、前回ノ限度擴張ノ御承認ヲ仰イダ譯デアリマス、ソレガ七千五百萬圓程デアッタノデアリマス、ソレデ此七千五百萬圓ト、今度ノ七千五百萬圓トヲ合計ヲ致シマスルト、茲ニ五年度末ノ米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトニ基キマシテ、米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトノ、其見積ノ内容ヲ申上ゲタノデアリマス、御手許ニ差上ゲテ居リマスル米穀需給調節會計、昭和五年度十二月末ノ推算ガドノ位ニナルカト云フ見込ハ、合計ニ於キマシテ四千六百四十四万七千圓、其内譯ヲ申シマスト、米穀ノ賣却損失ヲ見マシタ云フコトノ原因ハ、大體ニ於テ所有米穀ノ數量ガ非常ニ餘計デアッタト云フコトト、其中カラ賣却ヲ致シマスルモノ及ビソレヲ評價ヲ致シマスルニ當リマシテ、米價ガ低イノデ、殊ニ昭和五年度ニ於キマシテハ、米價ガ著シク低クアッタ云フコトノ爲ニ、賣却及ビ評價損ガ非常ニ餘計ニナッタノデアリマス、即チ米價ノ低イコトト米ノ數量ノ多イコト、此點ニ於キマシテ非非常ニ大キク相成、タ譯デアリマス、尙ホ

云フコトニ相成ル譯デアリマス、是ハ見位ノコトハアラウカト云フ見當ガツクノアリマス、ソレデ此兩者ノ、兩年度ノ損失ノ合計ガ約七千五百四十數万圓ニ相成ル譯デアリマスガ、然ラバ八千万圓ニ五百万圓バカリ足ラヌコトニナルノデアリマス、然ルニ昭和三年度末ノ損失ガ約七千万圓ト云フコトヲ見込ミマシテ、前回ノ限度擴張ノ御承認ヲ仰イダ譯デアリマス、ソレガ七千五百萬圓程デアッタノデアリマス、ソレデ此七千五百萬圓ト、今度ノ七千五百萬圓トヲ合計ヲ致シマスルト、茲ニ五年度末ノ米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトニ基キマシテ、米穀需給特別法ノ方ノ借入金ノ限度ヲ八千万圓擴張ルト云フコトノ、其見積ノ内容ヲ申上ゲタノデアリマス、御手許ニ差上ゲテ居リマスル米穀需給調節會計、昭和五年度十二月末ノ推算ガドノ位ニナルカト云フ見込ハ、合計ニ於キマシテ四千六百四十四万七千圓、其内譯ヲ申シマスト、米穀ノ賣却損失ヲ見マシタ云フコトノ原因ハ、大體ニ於テ所有米穀ノ數量ガ非常ニ餘計デアッタト云フコトト、其中カラ賣却ヲ致シマスルモノ及ビソレヲ評價ヲ致シマスルニ當リマシテ、米價ガ低イノデ、殊ニ昭和五年度ニ於キマシテハ、米價ガ著シク低クアッタ云フコトノ爲ニ、賣却及ビ評價損ガ非常ニ餘計ニナッタノデアリマス、即チ米價ノ低イコトト米ノ數量ノ多イコト、此點ニ於キマシテ非非常ニ大キク相成、タ譯デアリマス、尙ホ

デ散會イタシマス、明後日午前十時カラ開

會イタシマス

午後三時二十一分散會

政府委員

大藏省理財局長 富田勇太郎君

農林參與官

山田道兄君

農林省農務局長 石黒忠篤君

農林書記官 荷見安君

拓務省殖產局長 殖田俊吉君

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田正恒君

副委員長 橋本圭三郎君

委員

侯爵松平 康昌君

子爵松平 直平君

子爵片桐 貞央君

子爵土岐 章君

木場 貞長君

男爵長松 篤榮君

上山滿之進君

男爵今枝 直規君

男爵足立 豊君

男爵三須 精一君

湯川 寛吉君

田村 新吉君

佐藤 信古君

絲原武太郎君

本間千代吉君

國務大臣

大藏大臣 井上準之助君

農林大臣 町田 忠治君